

NeuroSpace



東京メトロの皆さまへ

初回研修

睡眠改善プログラム





「睡眠は技術」がコンセプト
睡眠セミナー

NeuroSpace

150社・3万人以上の
利用実績

Fitbitを活用した7週間のプログラム
睡眠改善プログラム
Biz Sleep



5分のアンケートで眠りを判定
睡眠チェック
My Sleep



本日お話すること

- 1 プログラムの概要
- 2 睡眠をより良くするためのポイント
- 3 Fitbitの見方と設定について
- 4 質疑応答 / 設定フォロー

投影資料は後日配信いたします

01 プログラムの概要



睡眠改善プログラム 初回研修

睡眠改善プログラムとは



睡眠の可視化を通じて、
睡眠に対する考え方や行動を少しずつ変えていく



睡眠や仕事のパフォーマンス、日中の生活を
より良くすることを目指すプログラム



睡眠をより良くするために

本プログラムでは「**認知行動療法**」にもとづき、
睡眠改善のサポートをします

認知行動療法とは



睡眠に影響する

①行動パターン(睡眠によくない生活習慣)

②思考のくせ

を見直しながら、適切な睡眠習慣を**再構築**する方法

認知行動療法について

メリット

- 副作用がない
- 薬とほぼ同等の効果がある
(併用も可能)
- 依存性がない=
身につければ長く持続する

認知行動療法について

メリット

- 副作用がない
- 薬とほぼ同等の効果がある
(併用も可能)
- 依存性がない=
身につければ長く持続する

デメリット

- 薬と比べて即効性がない
- チャレンジが必要
※プログラムでは、できる範囲で
楽しみながら取り組みましょう

今回のプログラムをきっかけに、睡眠を一緒に見直していきましょう！

睡眠をより良くするためのステップ

GOAL!



START



自分の状態を
振り返り
伸びしろに気づく

いったり
きたり



今までと違う
パターンを
試して

いったり
きたり



よいパターンを
身につける



一歩ずつ!



プログラムの流れ

睡眠計測期間(1/8~2/26)



1/8,9

初回研修



プログラム
スタート!

睡眠に関する
メルマガ



睡眠レポート
(研修時に配布)



睡眠レポートで
睡眠状態を確認



1/29,30

中間研修



レポートの見方や
快眠方法を習得

おすすめの快眠
アクション配信
(計4回)



終了後

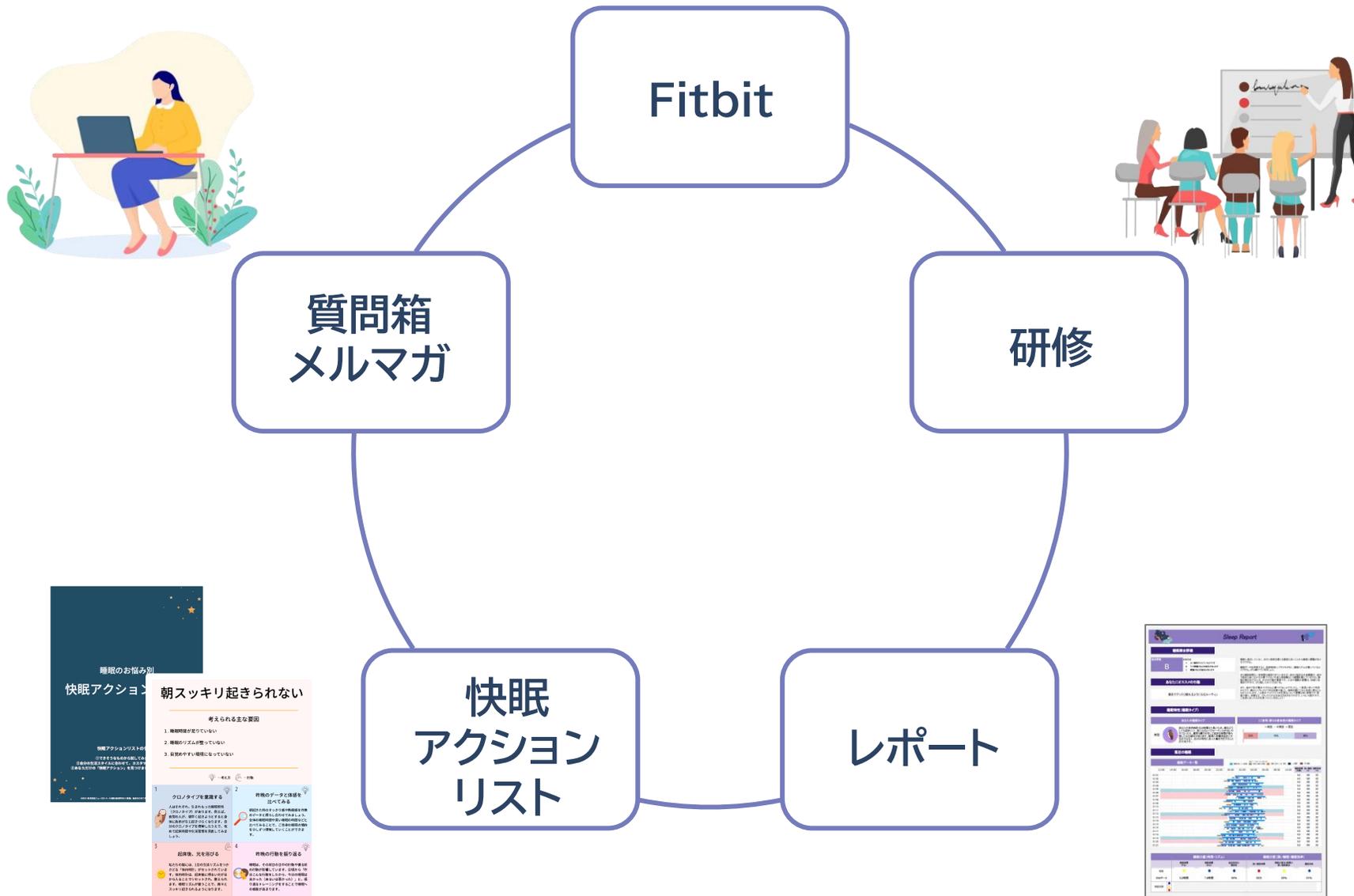
最終レポート
(メール配信)



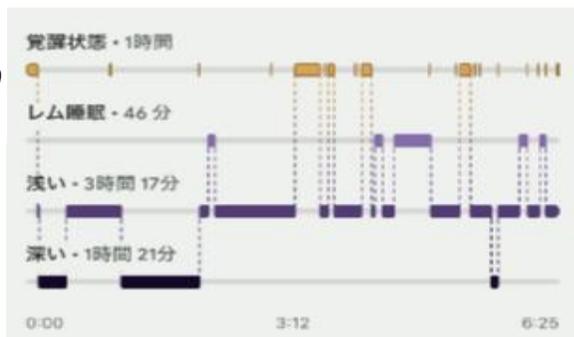
(前半)
アプリでご自身の睡眠状態を
確認する期間

(後半)
サポートツールを活用し
睡眠改善に取り組む期間

プログラムで活用するツール



Fitbit / 研修について



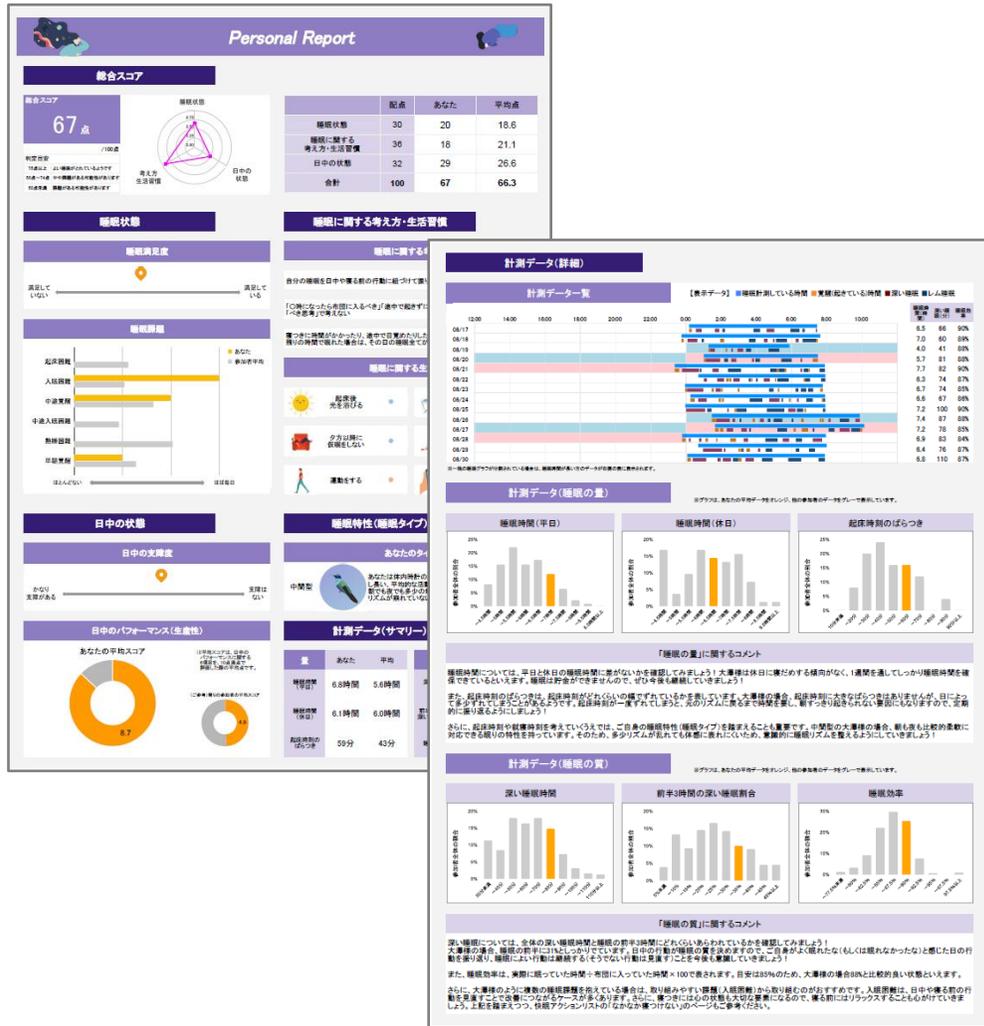
Fitbit

- 睡眠を可視化するための計測デバイスです
- 7週間にわたって計測していただきます

研修

- プログラム開始時と、3週間が経過したタイミングで研修を実施します
- 初回研修: プログラムの流れやFitbitの見方、睡眠の基礎知識など
- 中間研修: レポートの見方やデータをもとにした睡眠改善の方法、プログラム後半の取り組み方について

レポートについて



・中間研修前と終了時の2回配信

・ご自身の睡眠傾向や睡眠課題、Fitbitでの計測データについてフィードバック

・中間研修では、他者の実際の睡眠データもご覧いただきながら、睡眠をより良くするポイントをお伝えします

快眠アクションリストについて



朝スッキリ起きられない

考えられる主な要因

1. 睡眠時間が足りていない
2. 睡眠のリズムが整っていない
3. 目覚めやすい環境になっていない

💡 …考え方 🏠 …行動

<p>1</p> <p>🏠 クロノタイプを意識する</p> <p>人はそれぞれ、生まれもった睡眠特性（クロノタイプ）があります。例えば、夜型の人が、朝早く起きようとすると身体に負担が生じ起きづらくなります。自分のクロノタイプを理解したうえで、改めて起床時間や生活習慣を見直してみましょう。</p>	<p>2</p> <p>💡 昨夜のデータと体感を比べてみる</p> <p>朝起きた時のすっきり感や熟睡感を昨夜のデータと照らし合わせてみましょう。全体の睡眠時間や深い睡眠の時間などと比べてみることで、ご自身の睡眠の傾向を少しずつ理解していくことができます。</p>
<p>3</p> <p>🏠 起床後、光を浴びる</p> <p>私たちの脳には、1日の生活リズムをつかさどる「体内時計」がセットされています。体内時計は、起床後に明るい光が目から入ることでリセットされ、整えられます。睡眠リズムが整うことで、段々とスッキリ起きられるようになります。</p>	<p>4</p> <p>💡 昨夜の行動を振り返る</p> <p>睡眠は、その前日の日中の行動や寝る前の行動が影響しています。目覚から「昨日こんな行動をしたから、今日の睡眠は良かった（あるいは悪かった）」と、振り返るトレーニングをすることで睡眠への傾度が高まります。</p>

•睡眠をより良くするための考え方や行動を「快眠アクション」としてまとめています

•睡眠のお悩みを5カテゴリーに分けて各カテゴリーに有効な快眠アクション（睡眠習慣 / 生活習慣）をご紹介します

サポートツール

メールマガジン



睡眠に関するお役立ち情報を配信（週1～2回程度）

質問箱（メルマガ内にURL記載）



いつでも利用可能な睡眠なんでも質問箱です。普段から疑問に思っていることやお悩みを書き込んでいただくと、返事をお送りします

プログラムの開始にあたって

睡眠は一人ひとり背景も違えば
お悩みごととも違う

人によってプログラムの『ゴール』はそれぞれ

例:



ご自身の睡眠に満足するきっかけをつかむこと(お困りごとの解消・緩和)



最適な睡眠時間・睡眠リズムがわかること



最適な快眠アクション・考え方が身につくこと



ワーク

プログラムのゴールを考えてみましょう

①睡眠に関する困りごとや気になっていることを書いてみましょう

例:

- ・寝つくのに時間がかかる
- ・寝てもなかなか疲れがとれない

②そのうえでご自身なりのゴールをイメージしてみましょう

例:

- ・睡眠を計測してみることで自分の状態を知りたい
- ・睡眠の満足感を高めたい



研修用ワークシート

①睡眠に関するお困りごとや気になっていることを書いてみましょう

②そのうえでご自身なりのゴールをイメージしてみましょう



グループワーク

本日はグループワークを実施します。
各テーブルで自己紹介をお願いします。

①自己紹介:お名前と所属

②最近の睡眠の状況

- 眠れている or 眠れていない
- 気になっていることやお困りごと



02 睡眠をより良くするための のポイント ～基礎知識～



睡眠改善プログラム 初回研修

睡眠クイズ



点数を合計してみましょう

NeuroSpace

# (配点は各設問1点)	選択肢		
Quiz 1	A	B	
Quiz 2	A	B	
Quiz 3	A	B	
Quiz 4	A	B	C
Quiz 5	A	B	C
Quiz 6	A	B	C
Quiz 7	A	B	C
合計	点		



Quiz 1

睡眠はレム睡眠とノンレム睡眠の2種類がありますが
どちらがノンレム睡眠の状態でしょうか？

A



B



ヒント:体の脱力具合に注目



Answer

A



B



ノンレム睡眠
= 深い睡眠
= 完全に脱力している
と考えがちですが！

Point

ノンレム睡眠 =
筋肉は完全に弛緩していない

レム睡眠 =
筋肉は完全に弛緩

厳密には、イラストだけでレム/ノンレムを判別することはできません

ノンレム睡眠とレム睡眠の違い

ノンレム睡眠

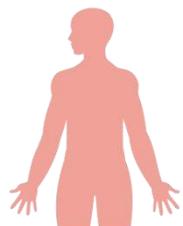
レム睡眠



脳の活動

休んでいる

比較的高い活動状態
(Rapid Eye Movement)



身体の活動

一定の活動が
見られることもある
=完全に弛緩していない

休んでいる
=筋肉は弛緩している



心拍数の変動

少ない

大きい

ノンレム睡眠とレム睡眠の違い

ノンレム睡眠

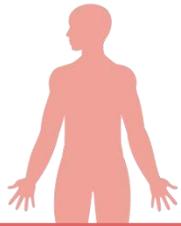
レム睡眠



脳の活動

休んでいる

比較的高い活動状態
(Rapid Eye Movement)



身体の活動

一定の活動が
見られることもある
=完全に弛緩していない

休んでいる
=筋肉は弛緩している



心拍数の変動

少ない

大きい



金縛りについて

金縛りのメカニズム

- ・金縛りは**レム睡眠**(夢を見ている)時に起こる
- ・脳は起きているのに身体が動かなくなる現象(身体の正常な仕組み)
- ・意識だけ先に目が覚めると、「身体が動かない！」と感じて怖くなる

主な原因



- ・精神的ストレスや過労
- ・睡眠不足
- ・電気やテレビをつけたまま眠る習慣

対策法



- ・金縛りのときは、無理に動かさず落ち着いて呼吸する
- ・やがて身体が動かせるようになってくる
- ・気持ちが落ち着かない場合は、一度ベッドから出て、白湯を飲んだり、ストレッチをしたりして、気持ちを静める



Quiz 2

睡眠のゴールデンタイム(疲労回復や免疫を整える時間)は22時~2時なので、その時間帯には眠っていた方がよい？

A

22時~2時に眠っていた方がよい

B

22時~2時に眠っている必要はない

こたえは 



Answer

B

22時～2時に眠っている必要はない

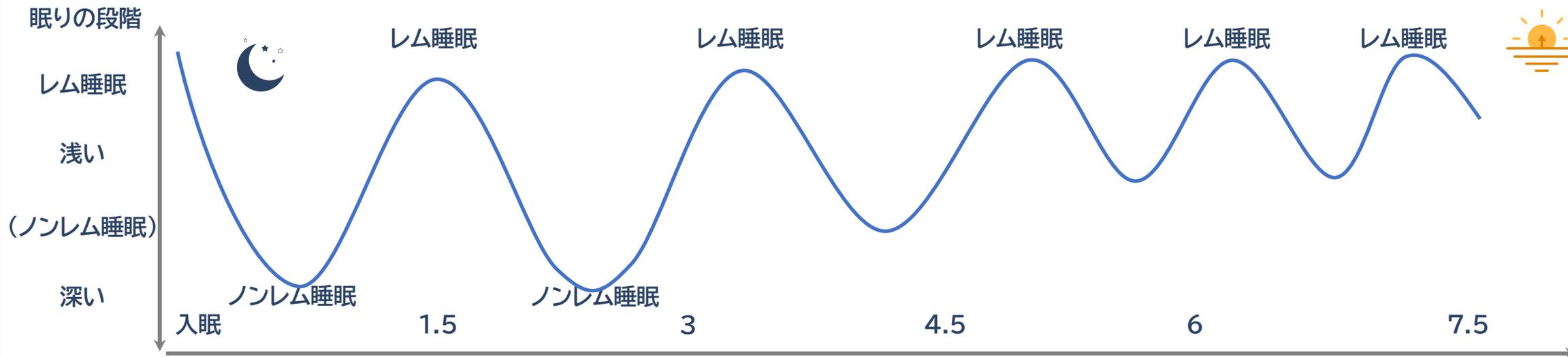
Why?

眠りはじめから**”3時間”**が重要であり、22時～2時である必要はないから

睡眠の役割

睡眠の前半
脳と体の休息

睡眠の後半
心の休息



成長ホルモン

疲労回復 免疫を整える
身体の成長

メラトニン

眠気を促す
生体リズムの調整

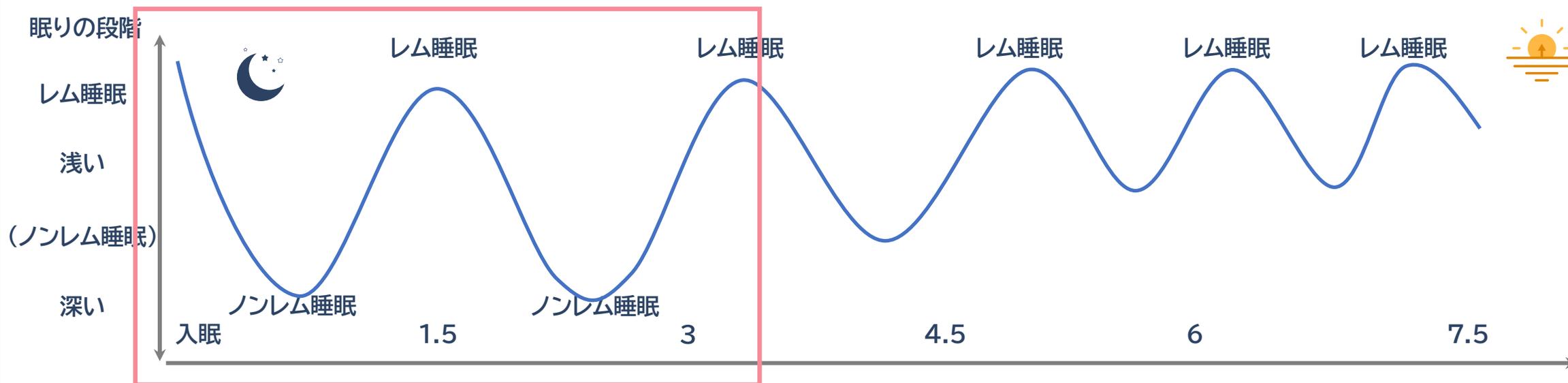
コルチゾール

血糖値や血圧の調整
起床を促す

睡眠の役割

睡眠の前半
脳と体の休息

睡眠の後半
心の休息



成長ホルモン

疲労回復 免疫を整える
身体の成長

メラトニン

眠気を促す
生体リズムの調整

コルチゾール

血糖値や血圧の調整
起床を促す



Quiz 3

夢を見るのは、眠りが浅いサインなのでよくない？

A

夢をみるのはよくない

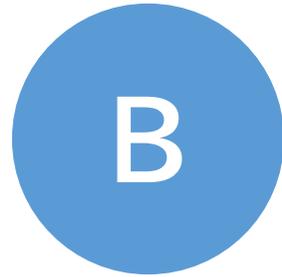
B

夢をみるのはよい

こたえは 



Answer



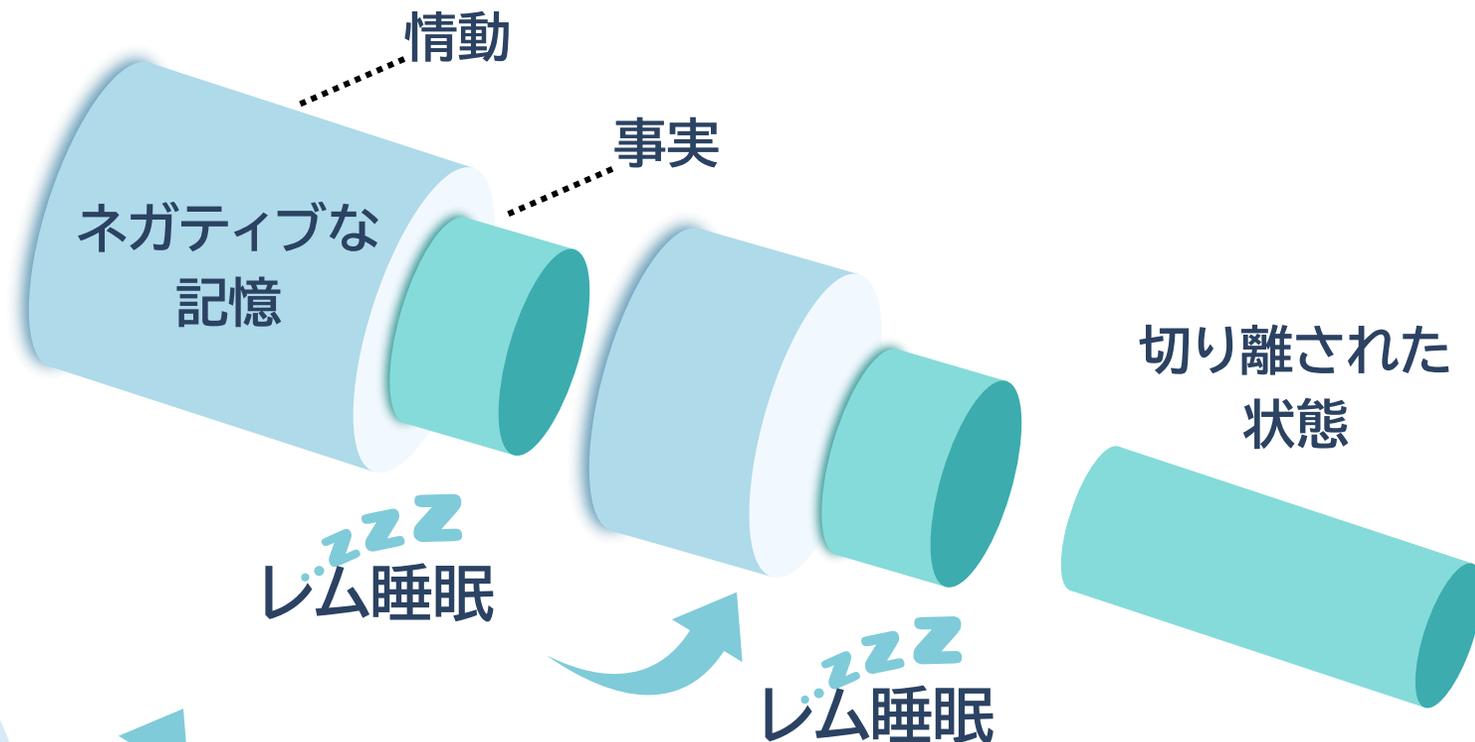
夢をみるのはよい

Why?

日中に処理した様々な情報や発生したストレスはレム睡眠中に整理されます (この時に夢を見ることがあります)

睡眠の役割

仕事で失敗した(事実)
+
気持ちが落ち込む(情動)
→ネガティブな記憶

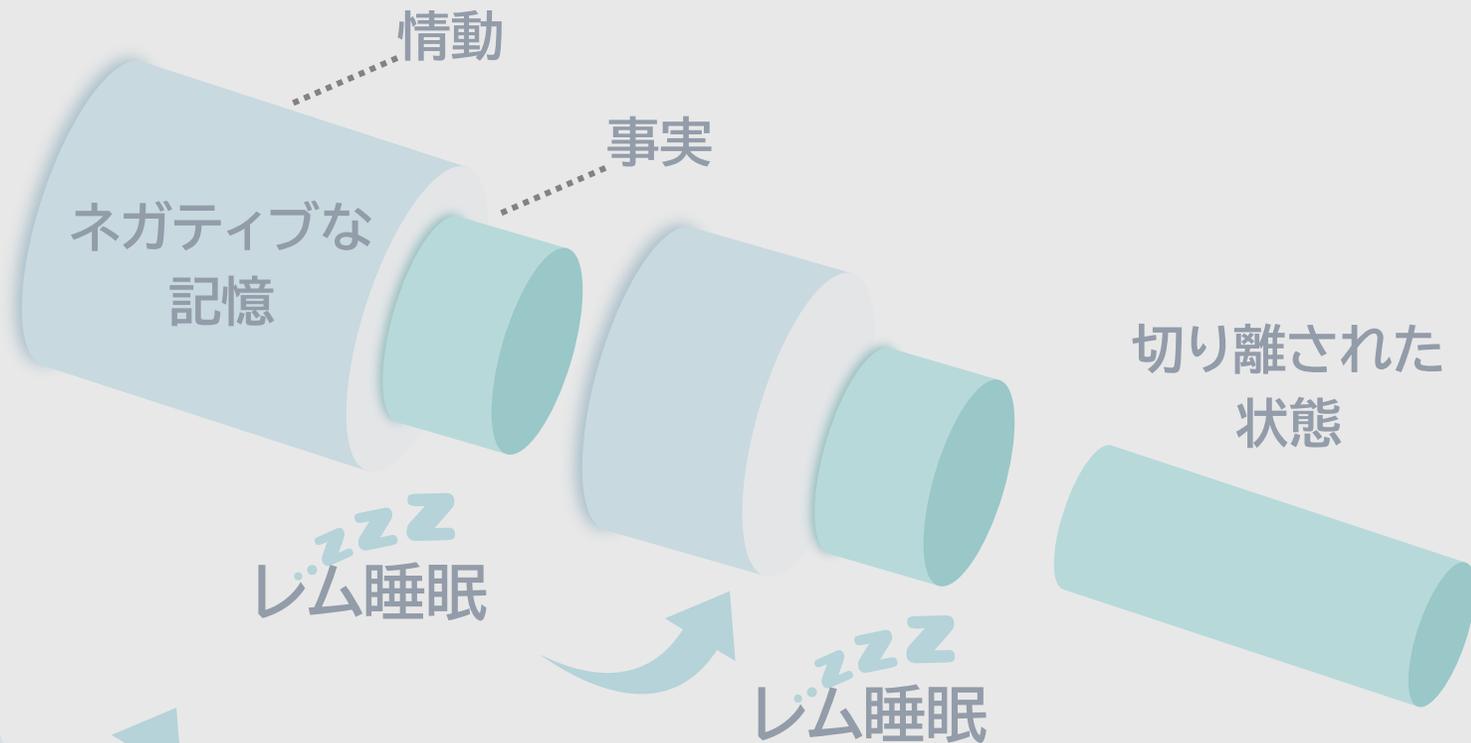


心のメンテナンス
事実に向き合えるようになる

睡眠の役割

仕事で失敗した(事実)
+
気持ちが落ち込む(情動)

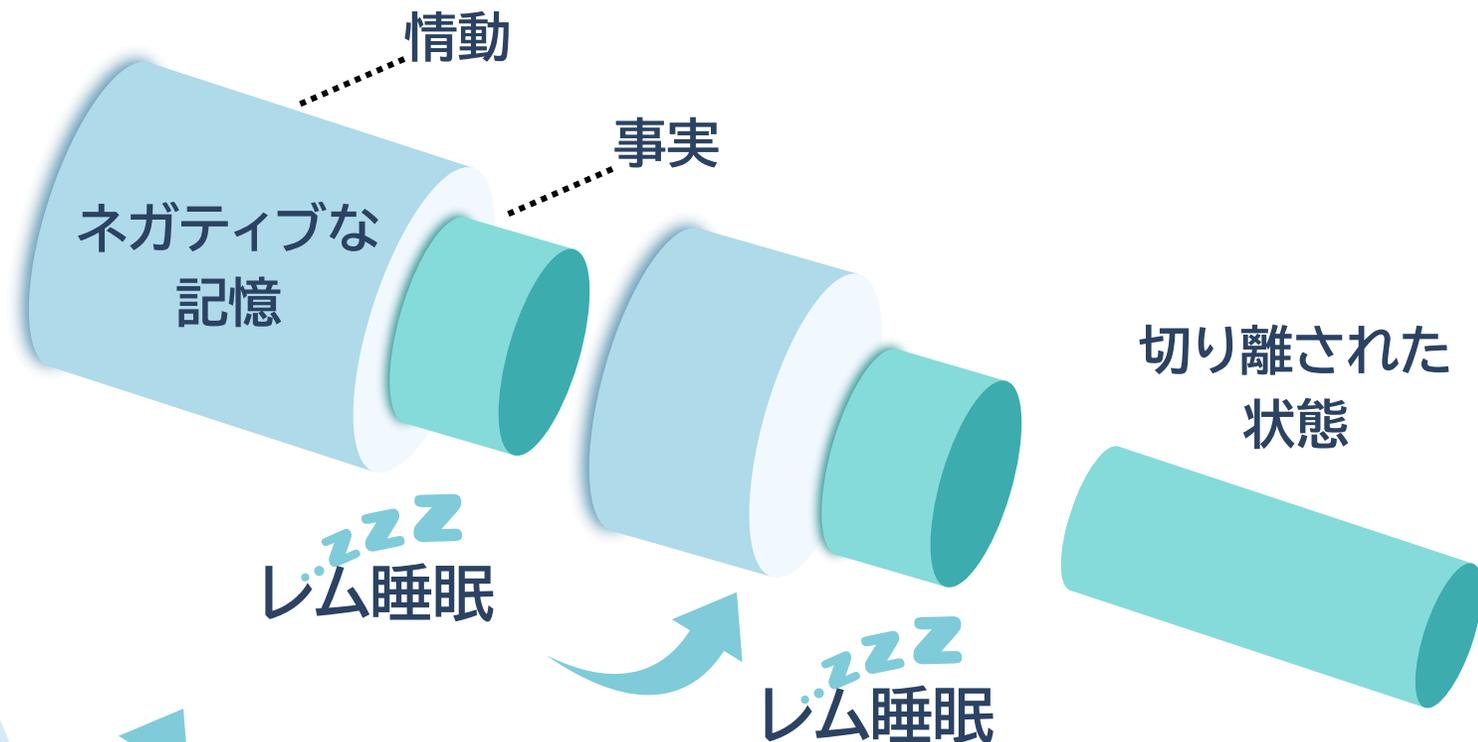
→ネガティブな記憶



心のメンテナンス
事実に向き合えるようになる

睡眠の役割

仕事で失敗した(事実)
+
気持ちが落ち込む(情動)
→ネガティブな記憶



心のメンテナンス
事実に向き合えるようになる

今日から一生使える 睡眠の技術



睡眠改善プログラム 初回研修

はじめにお伝えしておきたいこと



睡眠は技術

- ・睡眠は先天的な能力ではありません。誰でも技術を習得すれば、睡眠を一定程度コントロールし、よい眠りを手に入れることができます。
- ・表面上のテクニックだけでなく、**身体のメカニズム**まで押さえておくと応用がききやすくなります

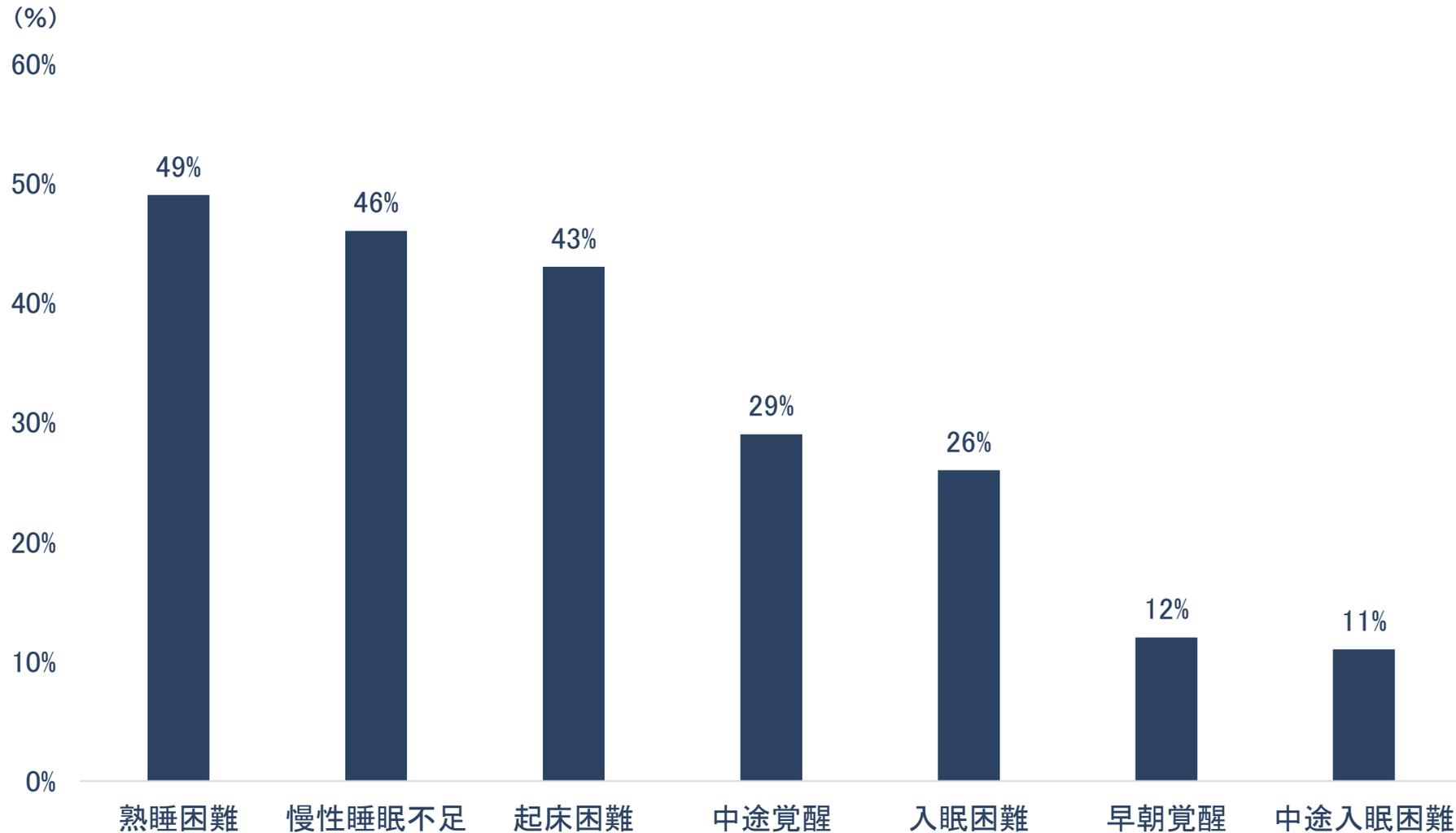


何か一つ、役に立ちそうな考え方や睡眠の技術を持ち帰っていただく

- ・たくさんのお話をしますが、最初から全て実践するのは大変です。何か一つでもご自身の役に立ちそうな情報(考え方や睡眠の技術)を得ていただければ嬉しいです。

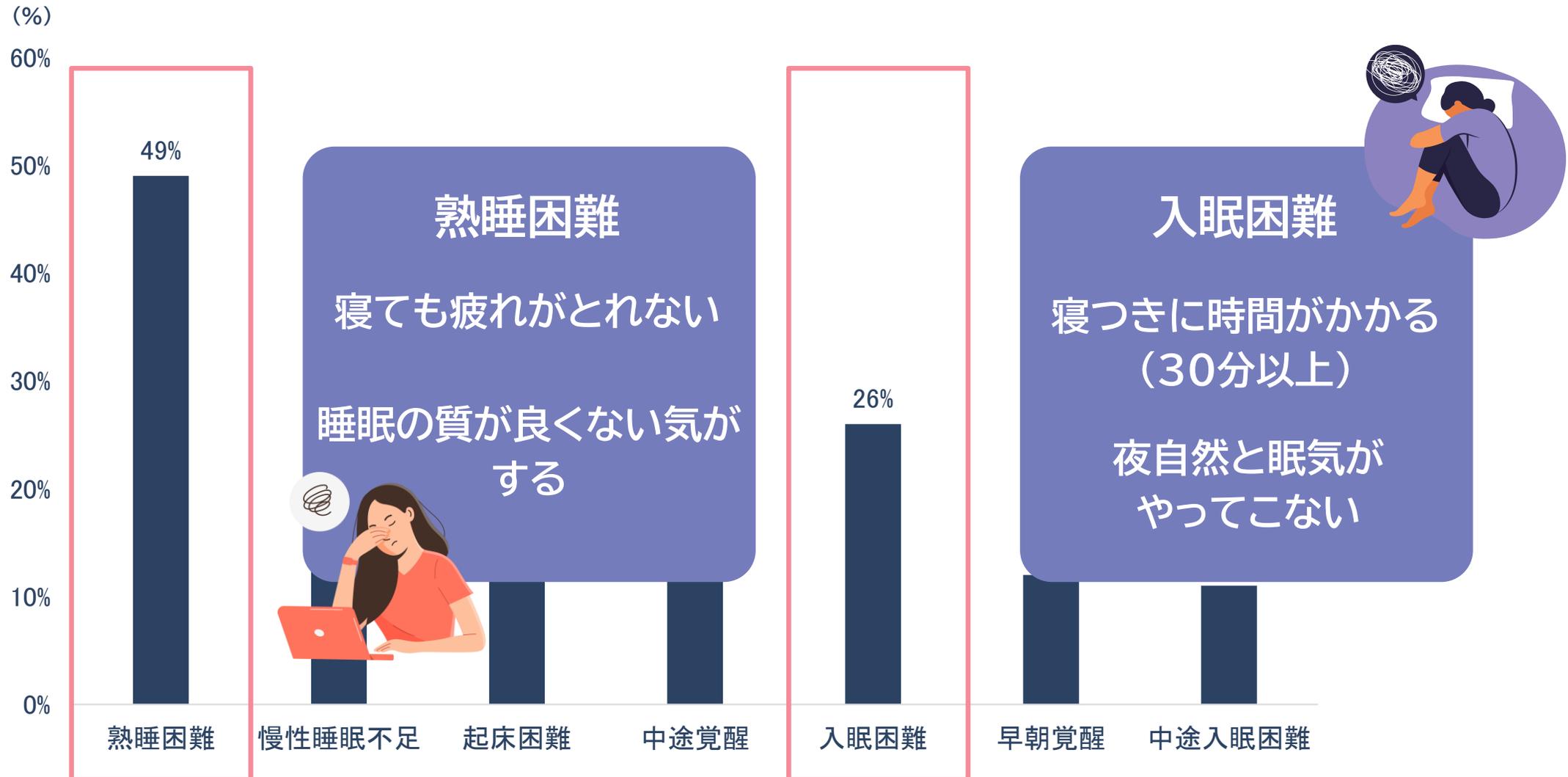
企業で働く方の睡眠課題別割合

各課題の症状に対して「毎日」「週3回以上」「週1～2回」と回答した割合の合計(N=504)



企業で働く方の睡眠課題別割合

各課題の症状に対して「毎日」「週3回以上」「週1～2回」と回答した割合の合計(N=504)



熟睡困難・入眠困難の原因



① 睡眠圧がたまっていない

② 深部体温のコントロールがうまくできていない

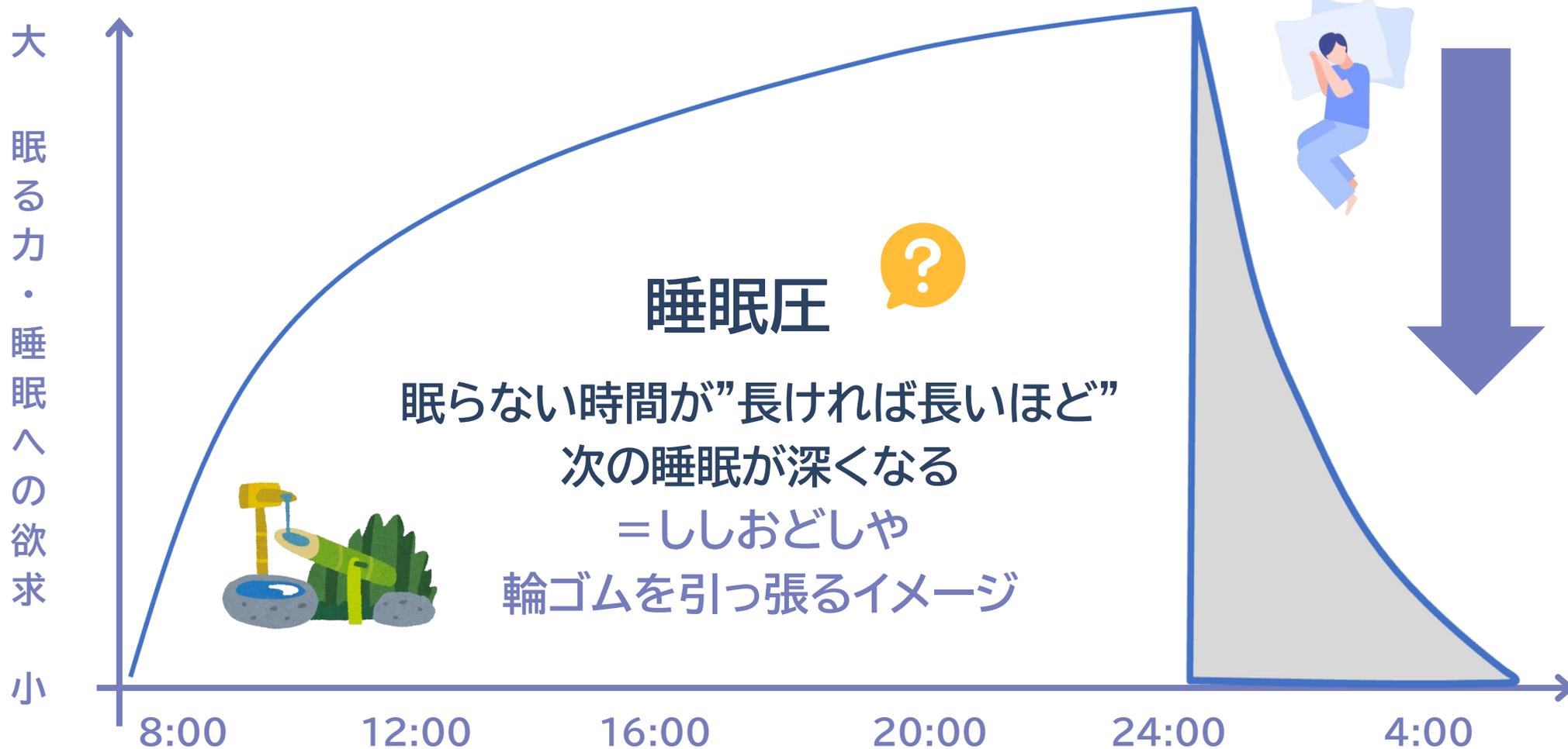
③ 眠るための環境が整っていない



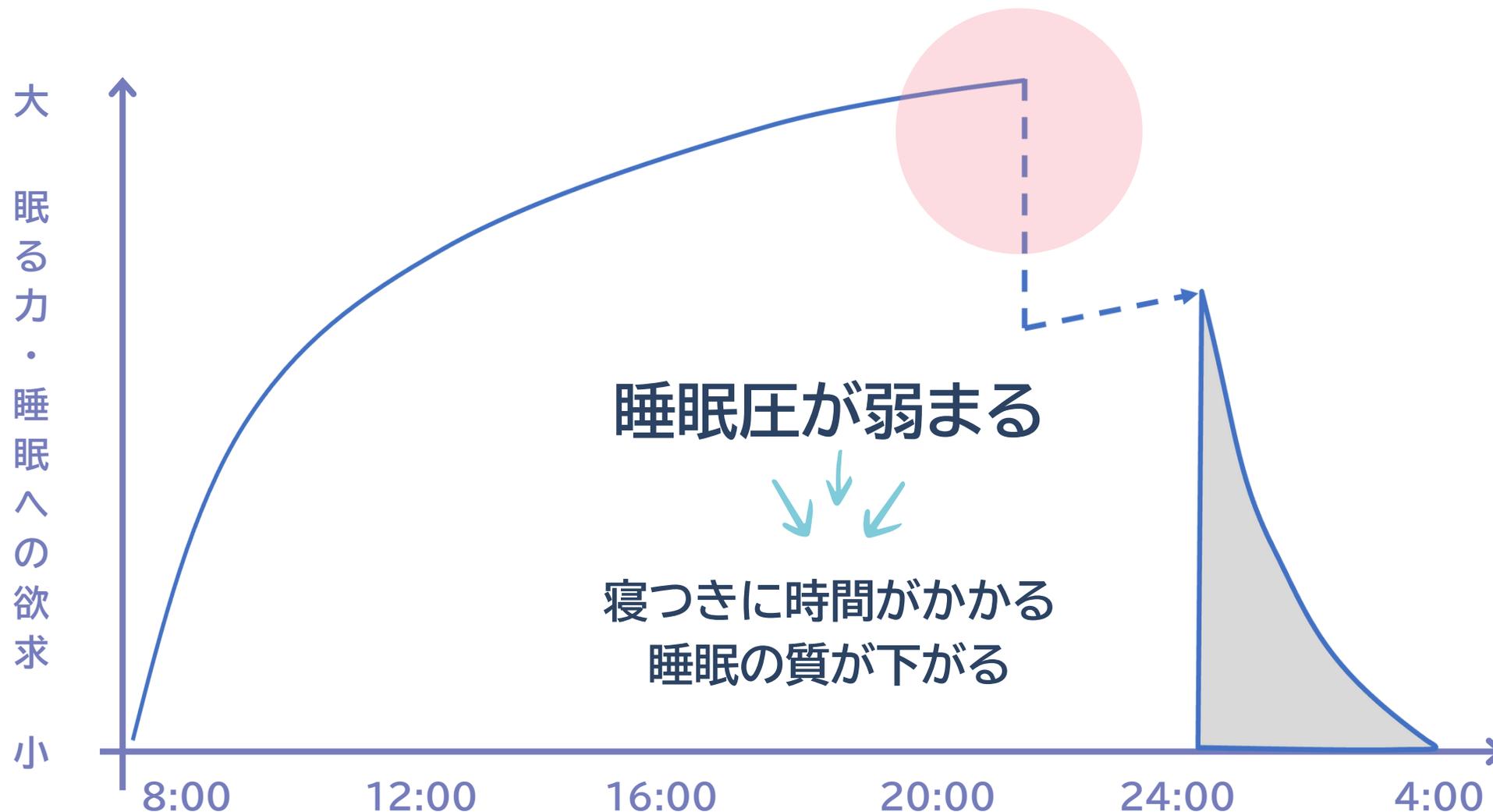


熟睡困難・入眠困難を解決する睡眠の技術①

睡眠圧を意識し、夕方以降に寝ない



夕方以降に寝てしまうと



疲れていても夕方以降や帰宅後の仮眠は避ける
寝る時間に合わせて睡眠圧をしっかりとめる



Quiz 4

寝る直前に、
手足がぽかぽかした状態になっているのは良いこと？

A

良い

B

良くない

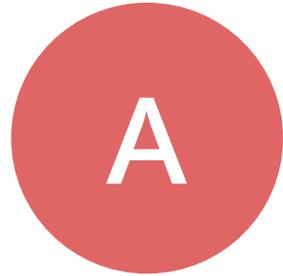
C

どちらとも言えない

こたえは 



Answer



良い

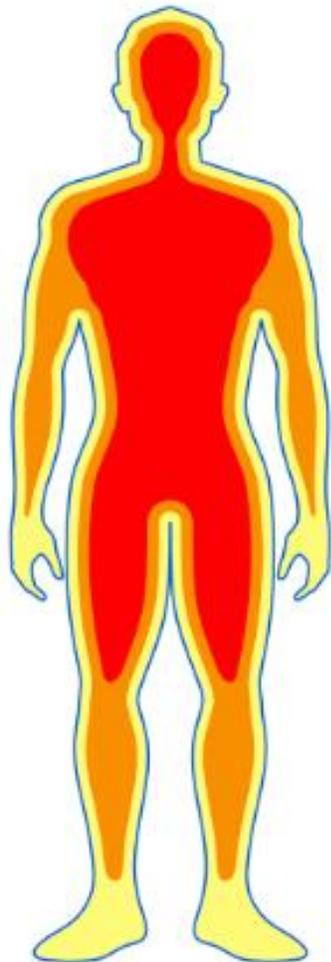
Point

副交感神経が優位になると、血管が拡張する

→手足の血流が促進され、熱が皮膚表面から外に放出される

キーワードは「深部体温」

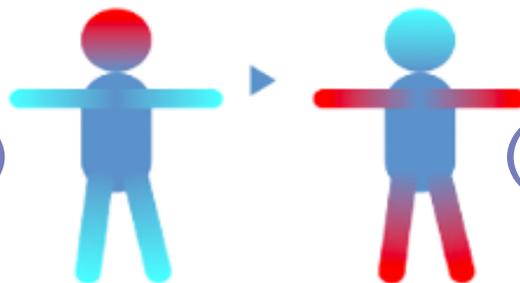
睡眠のメカニズム「深部体温」



深部体温って 

- ① 身体の内側の温度(内臓や脳の温度)
- ② 活動時に高く、休息時に低い
- ③ 下がる時に手足から放熱され、眠りにつきやすい

眠れない
(手足が冷えた状態)

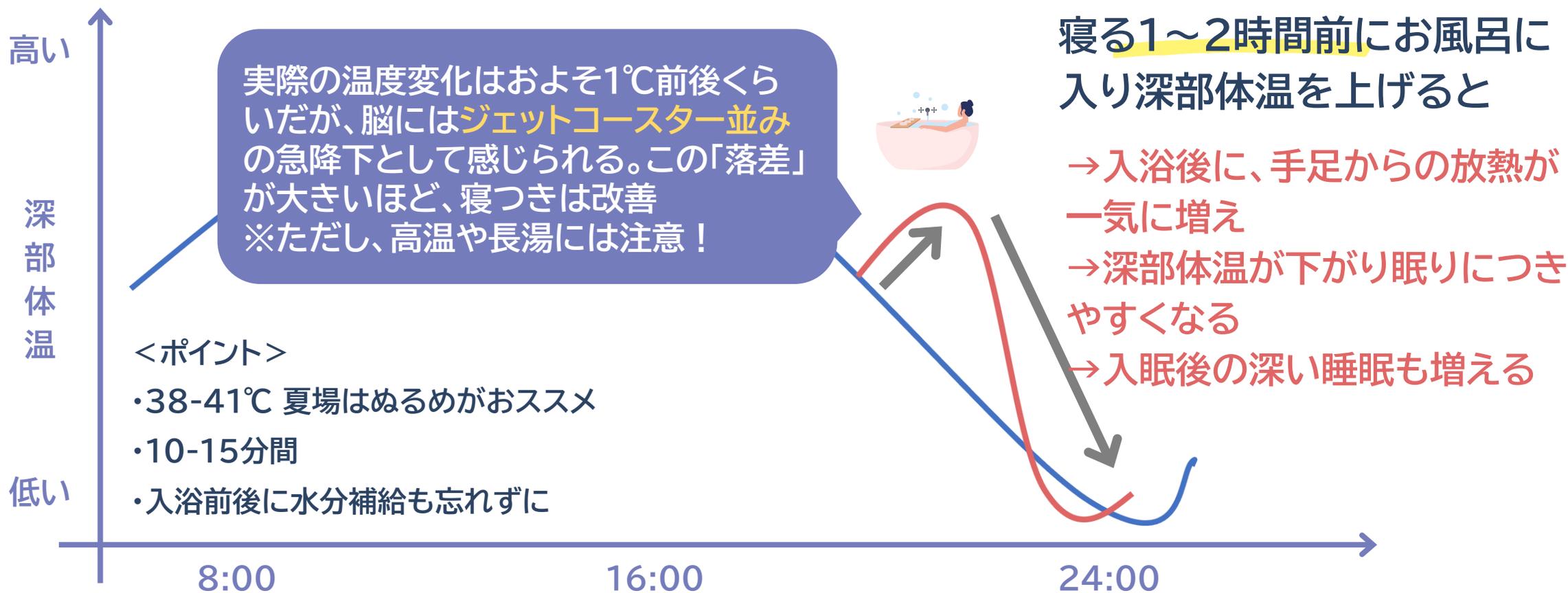


眠れる
(放熱されポカポカに)

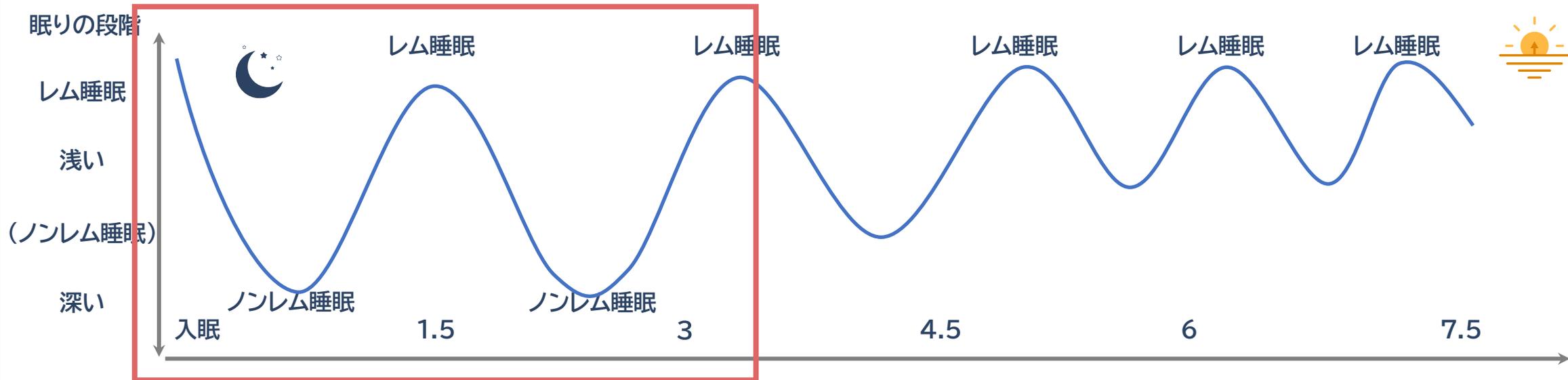


寝つきを良くするために

寝る1~2時間前にお風呂に入る



睡眠前半3時間の質を意識的に高める



成長ホルモン

疲労回復 免疫を整える
身体の成長

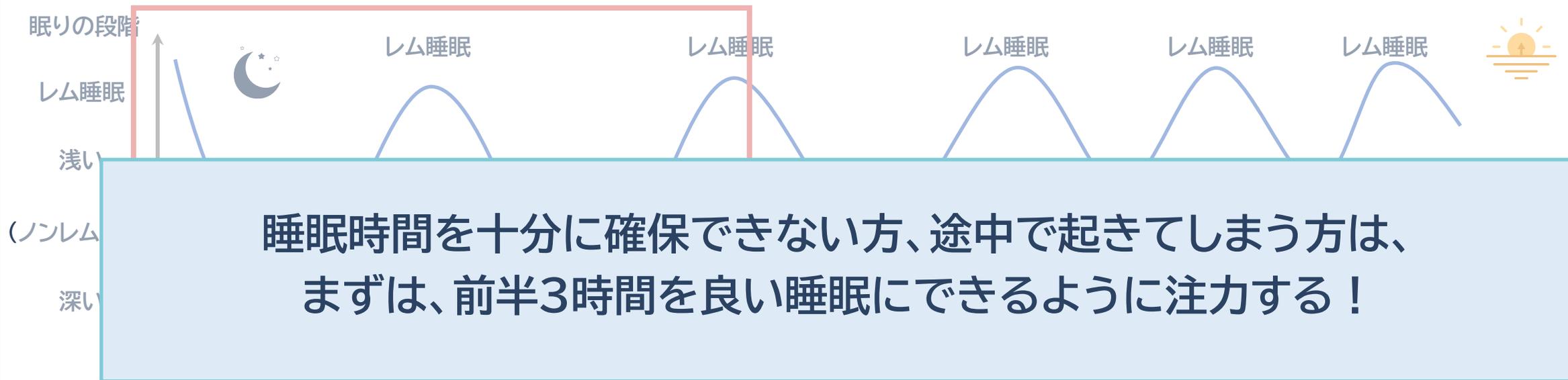
メラトニン

眠気を促す
生体リズムの調整

コルチゾール

血糖値や血圧の調整
起床を促す

睡眠前半3時間の質を意識的に高める



成長ホルモン

疲労回復 免疫を整える
身体の成長

メラトニン

眠気を促す
生体リズムの調整

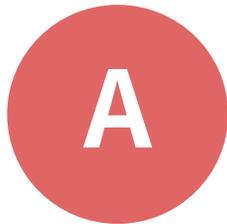
コルチゾール

血糖値や血圧の調整
起床を促す



Quiz 5

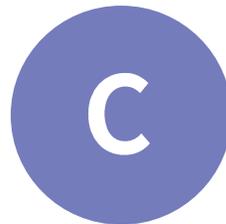
寝る前の状態として一番適しているものはどれでしょう？



満腹



空腹

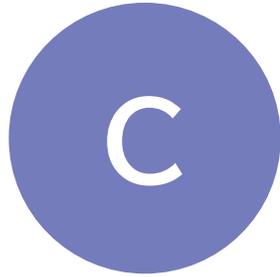


どちらも良くない

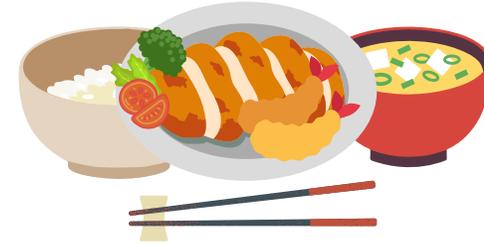
こたえは 



Answer



どちらも良くない

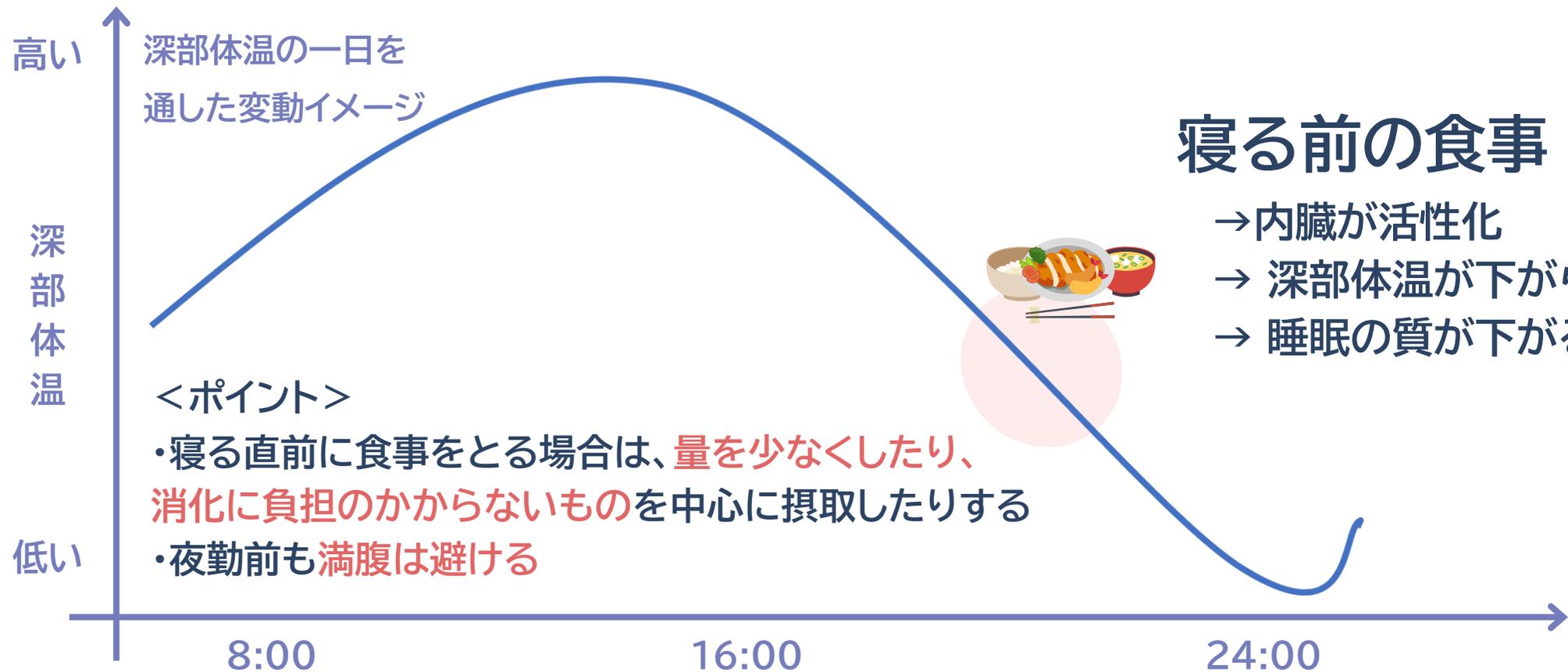


Point

満腹でも空腹でも睡眠にとっては良くない
食事をする**タイミング**を考慮しながら食事内容を
調整できることが理想

寝つきを妨げないために

寝る2~3時間前までに食事や飲酒を終える



眠気を促すために

光を使い分ける

寝る時
オレンジの光



起きる時
白い光



寝る前にメラトニンの分泌を阻害させない
→ベッドでのスマホやテレビ、PCはなるべく控える

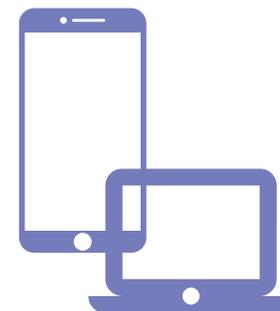
脳へも睡眠を条件づけ

ベッドで眠りに関係のないことをしない

脳の記憶(条件づけ)
ここは眠る場所ではない!



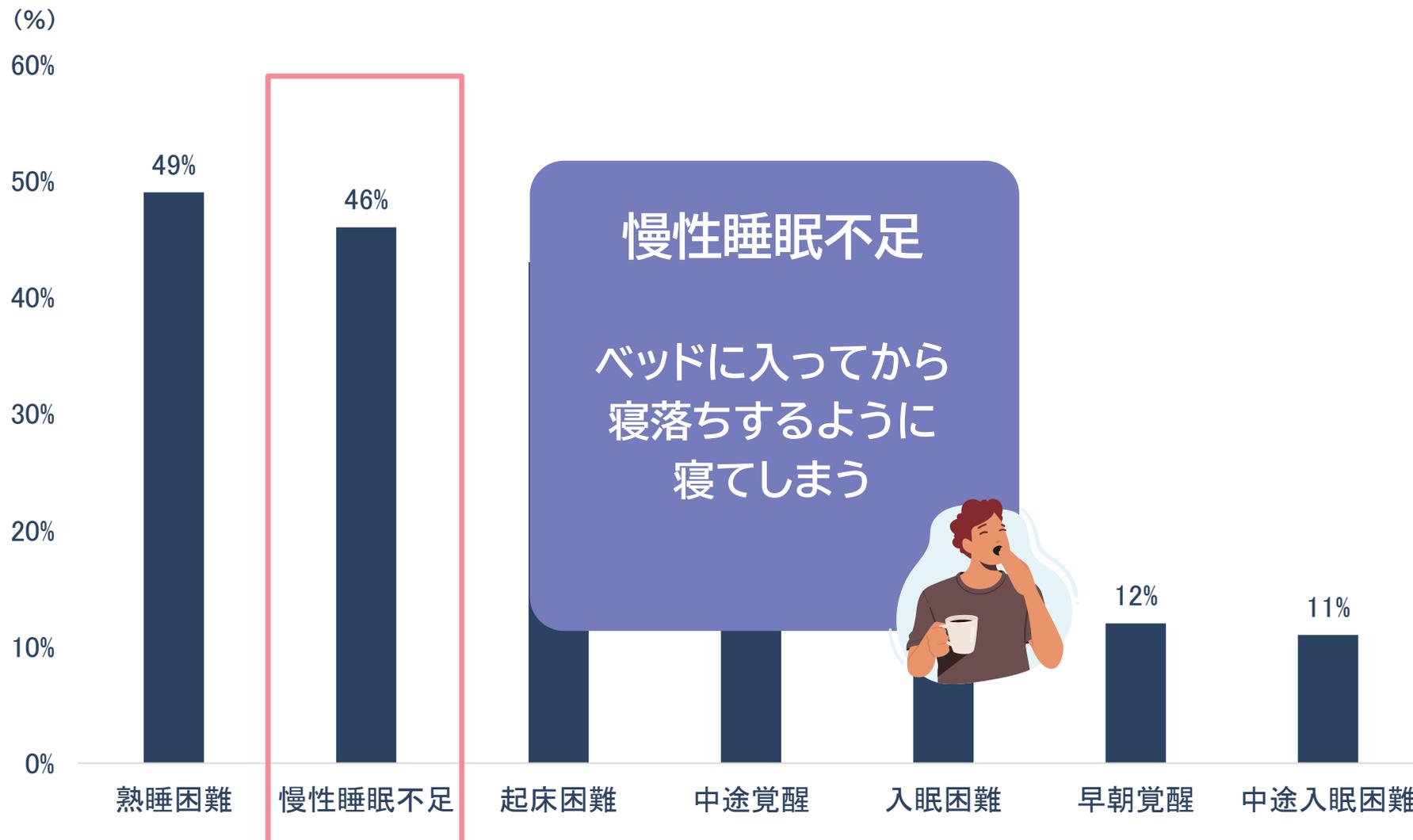
眠りのスタートライン



眠気を感じてからベッドに入り「ベッド＝睡眠」の記憶をつくる

企業で働く方の睡眠課題別割合

各課題の症状に対して「毎日」「週3回以上」「週1～2回」と回答した割合の合計(N=504)





最適睡眠時間をチェックする方法（おもに日勤の方向けの指標）

- ① 平日と休日で**2時間以上**起床時間がずれていないか？
- ② 起きてから**4時間**の間に眠気を感じないか？
- ③ 夜に**自然**と眠気を感じるか？

最適な睡眠時間は**人によって異なります**

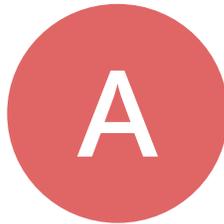
※ショートスリーパーの人は稀(100人に1人以下)

睡眠時間が不足気味の方は、
平日+15分でも良いので睡眠時間を確保するようにしましょう！

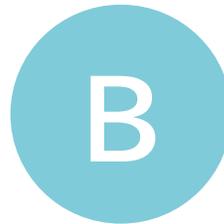


Quiz 6

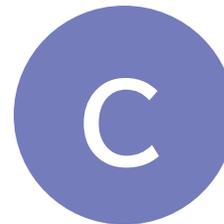
仮眠の前にコーヒーを飲むと眠れなくなり逆効果である
(全泊勤務時の長めの仮眠は除く)



正しい



正しくない

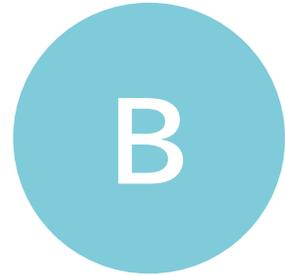


どちらともとも言えない

こたえは 



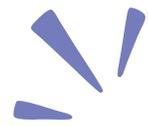
Answer



正しくない

Point

コーヒーを飲んでから20分ほど仮眠をとると、
カフェインが効き始める頃(20~30分後)に目覚められるため、
すっきり感が高まります(コーヒーナツプ)。



日勤や休日のお昼、全泊勤務では

戦略的に仮眠をとる

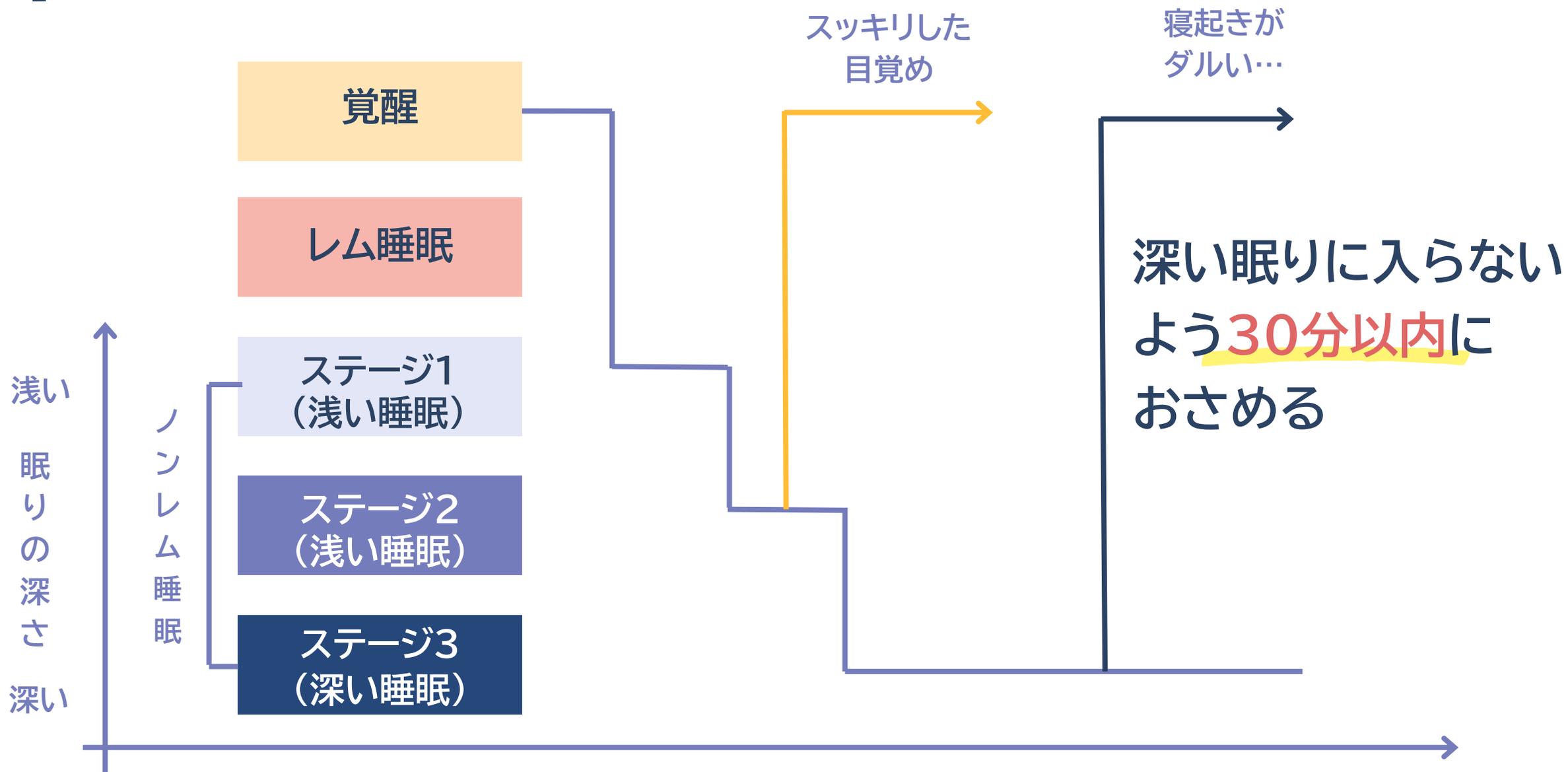
- ① 30分以内におさめる（5分目をつぶるだけでも効果あり）
- ② 寝る前にカフェインをとる
- ③ 横にならない（横になっても30分以内に起きられる場合は○）

ポイント

- ・眠気を感じない場合は無理に仮眠をとる必要はありませんが、目をつぶるだけでも脳はリラックスします
- ・休日も時間を守り、睡眠圧をしっかり溜めていきましょう

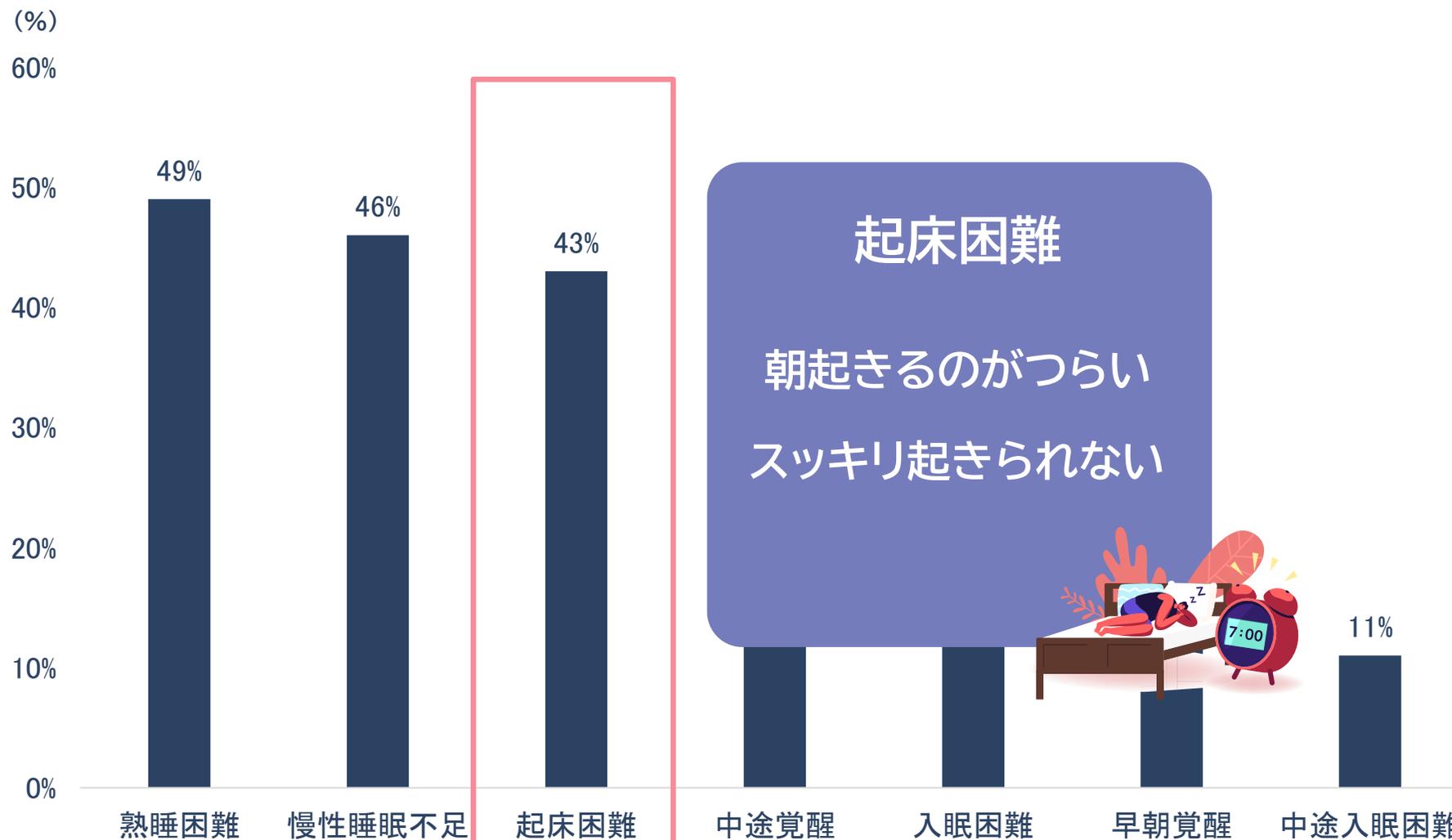


特に休日では仮眠が長くなりすぎないように注意



企業で働く方の睡眠課題別割合

各課題の症状に対して「毎日」「週3回以上」「週1～2回」と回答した割合の合計(N=504)



起床困難の原因

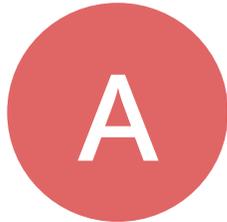
- ① 睡眠時間の不足
- ② 眠り始めから3時間の質が良くない
- ③ 週末の寝だめによるリズムの乱れ



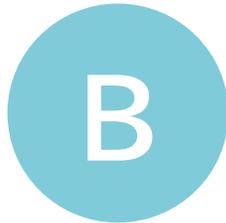


Quiz 7

休日の過ごし方として最も適切なものはどれでしょう？



できるだけ長く寝る(お昼すぎてもOK)



多少眠くてもいつもと同じくらいの時間に起床する



どちらも正しくない

こたえは 



Answer

B

多少眠くてもいつもと同じくらいの
時間に起床する

Point

朝～午前中に光をあびることで
体内時計を整えることができる

休日に意識するポイント



6～7時間以上の睡眠時間を十分に確保する



朝～午前中に光をあびる = 起床のリズムを揃える



睡眠圧や深部体温をコントロールし、質の高い睡眠をとる

休日に意識するポイント



6～7時間以上の睡眠時間を十分に確保する



朝～午前中に光をあびる＝起床のリズムを揃える



睡眠圧や深部体温をコントロールし、質の高い睡眠をとる

睡眠時間の考え方

たとえば・・・

Aさんは、一日6時間の睡眠が必要

朝6時に起きるために、24時にベッドに入る

一見、問題ないようにみえるが・・・



実は、これでは6時間の睡眠を確保できたことにならない





睡眠時間の考え方

総睡眠時間 = 臥床時間 - 入眠潜時 - 中途覚醒

ベッドに
いた時間

寝つきに
かかった時間
(スマホ時間も含む)

途中で
目が覚めた時間

5時間35分 = 6時間 - 15分 - 10分

▼
6時間25分



朝6時に起床したい場合は、23時半にはベッドに入る必要がある

睡眠時間を工面するためのアイデア

就寝ルーティンの再設計



- ・就寝1時間前の行動を見直し。入浴や食事の時間を前倒ししたり、テレビ・スマホの”なんとなく時間”を見直すことで+15分を捻出

スマホをおやすみモードに



- ・時間になったら、画面が暗くなるようにあらかじめ設定
iPhone > Night Shiftモード
Android > Digital Wellbeing > おやすみ時間モード
- ・カラフルな視覚刺激が減ることで、自然とスクリーンタイムが短くなる

休日に意識するポイント



6～7時間以上の睡眠時間を十分に確保する



朝～午前中に光をあびる = 起床のリズムを揃える

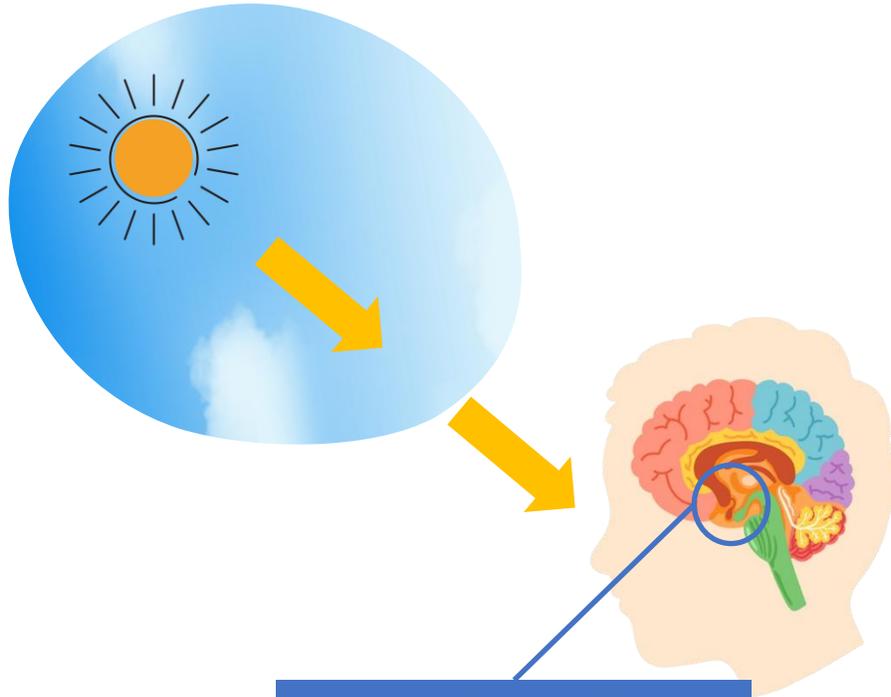


睡眠圧や深部体温をコントロールし、質の高い睡眠をとる

リズムを整えるために

光を浴びて体内時計をリセットする

光の刺激は目の網膜を通して脳に届く
2,500ルクス以上の光を浴びる×20分程度



視交叉上核
(体内時計)

光を浴びることで
体内時計はリセット



休日に意識するポイント



6～7時間以上の睡眠時間を十分に確保する



朝～午前中に光をあびる＝起床のリズムを揃える



睡眠圧や深部体温をコントロールし、質の高い睡眠をとる

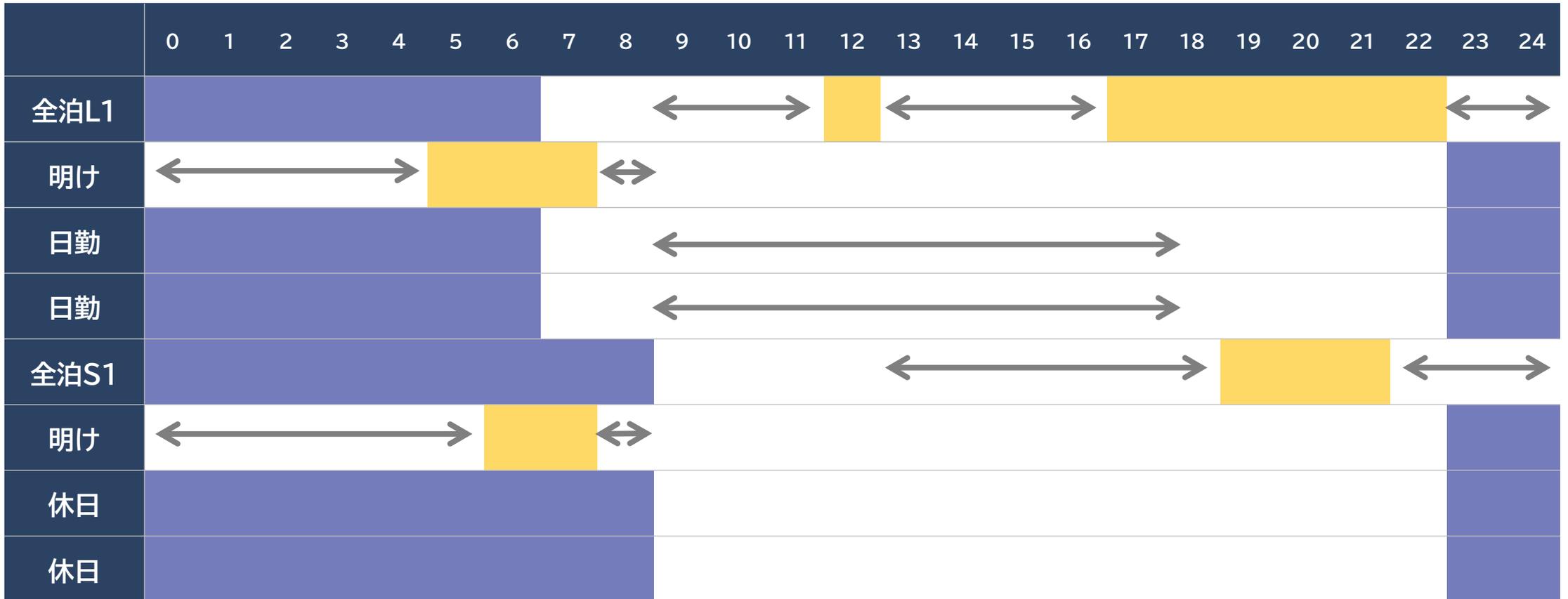
点数を合計してみましょう

# (配点は各設問1点)	選択肢		
Quiz 1	A	B	
Quiz 2	A	B	
Quiz 3	A	B	
Quiz 4	A	B	C
Quiz 5	A	B	C
Quiz 6	A	B	C
Quiz 7	A	B	C
合計	点		

勤務シフトにあわせた 睡眠のポイント

勤務シフトにあわせた睡眠のポイント

勤務時間帯
 睡眠時間帯
 休憩時間帯



ポイント①

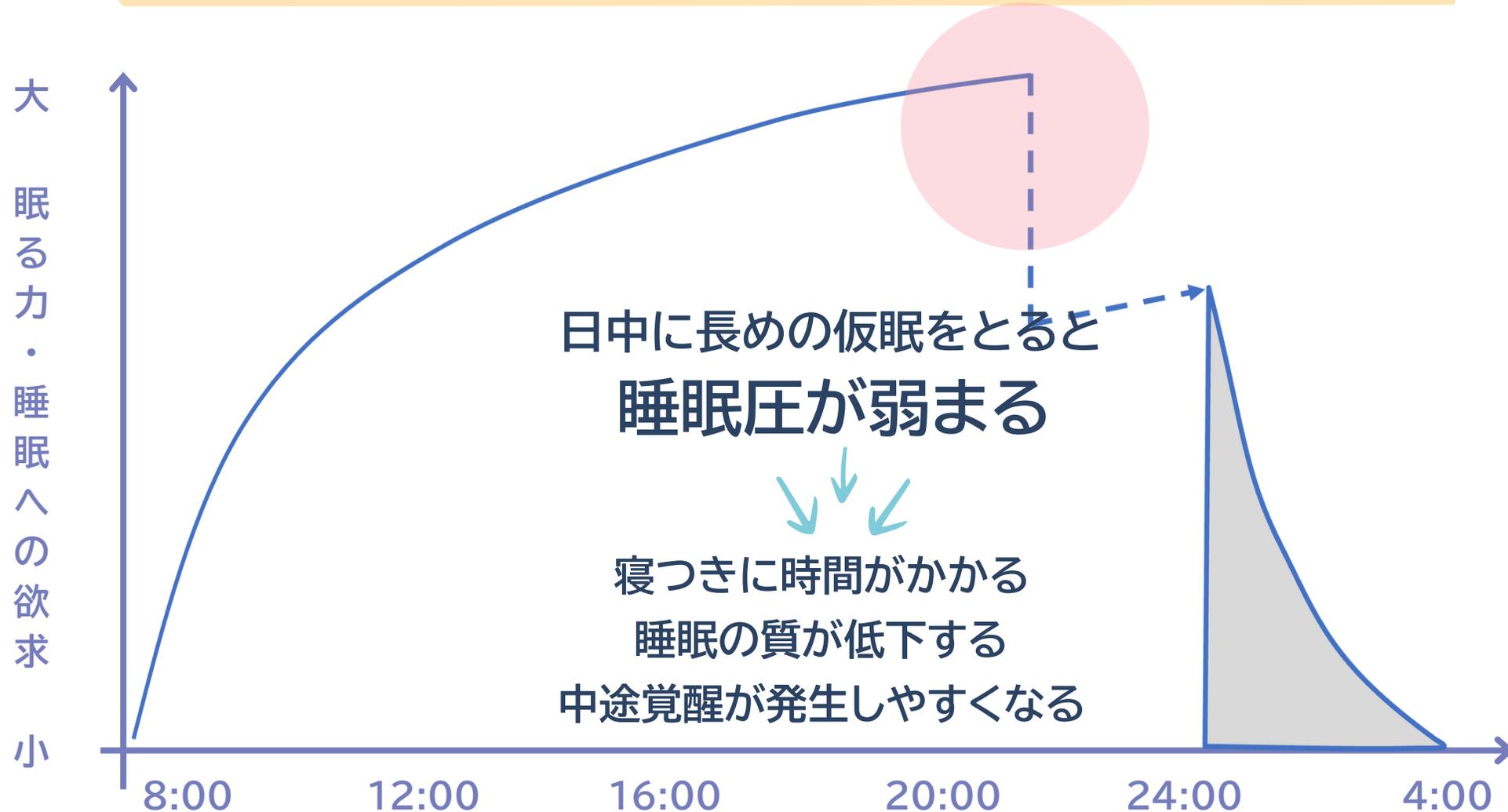
全泊勤務明けの過ごし方



特に全泊勤務明けの日は

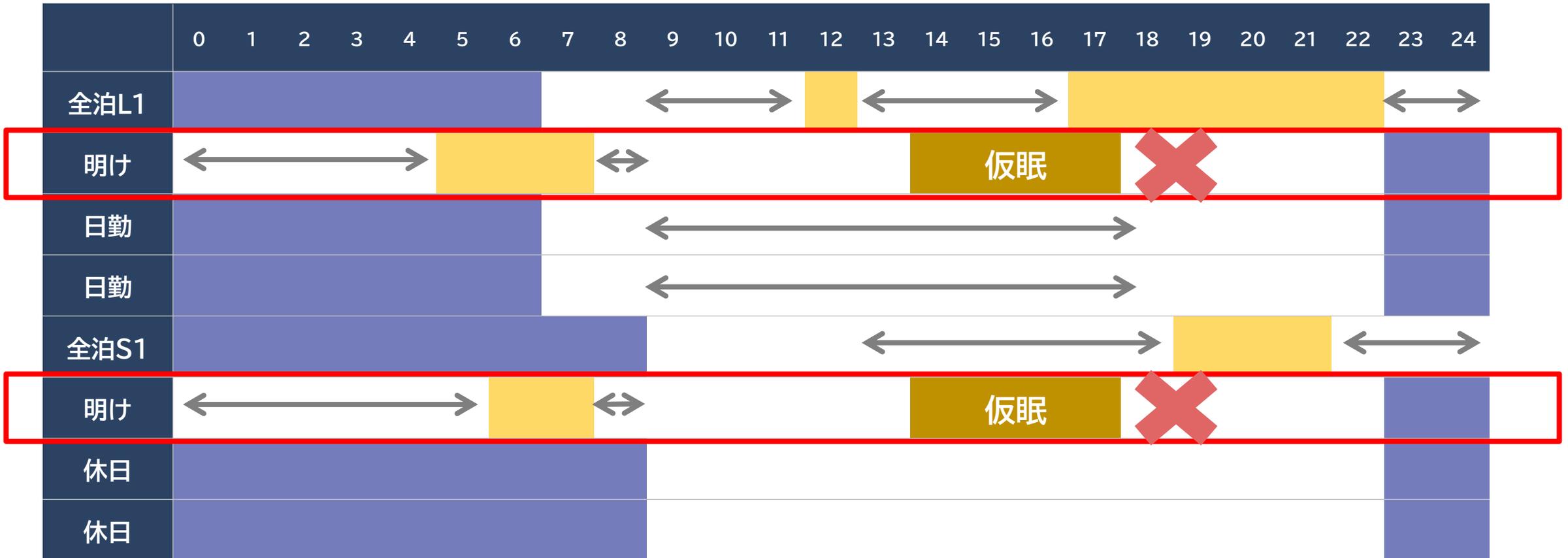
※日勤や休日も

睡眠圧を意識し、夕方以降に寝ない



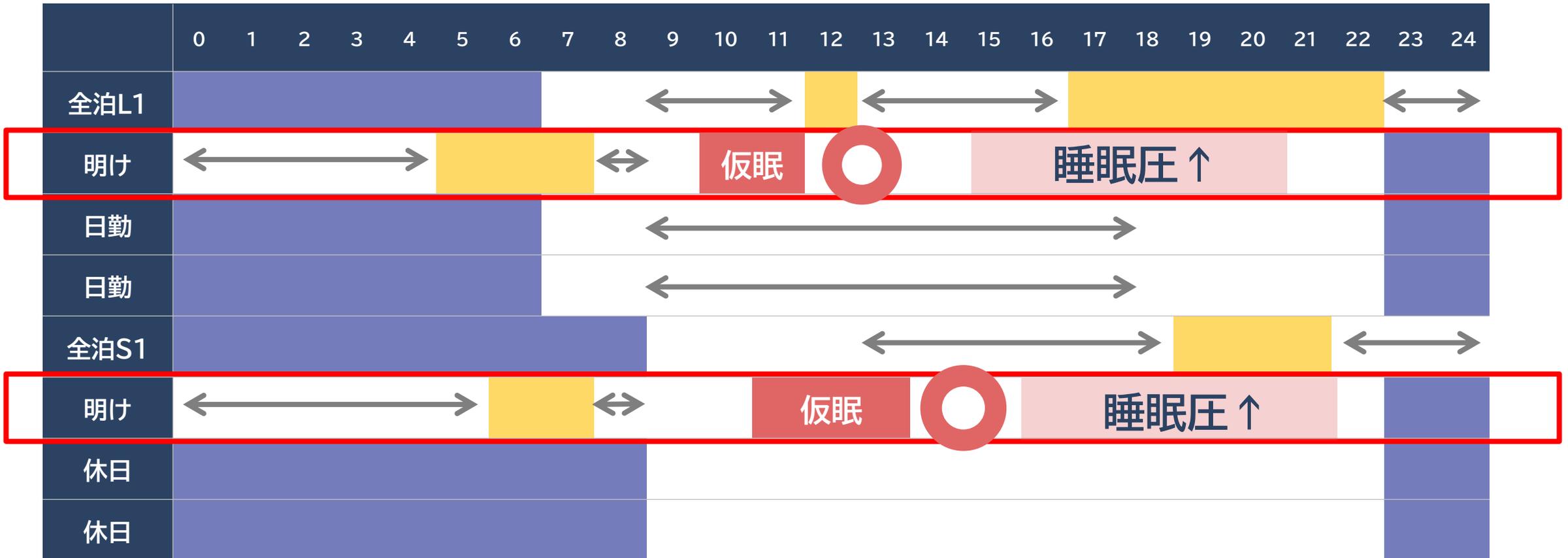
勤務シフトにあわせた睡眠のポイント

勤務時間帯
 睡眠時間帯
 休憩時間帯



勤務シフトにあわせた睡眠のポイント

勤務時間帯
 睡眠時間帯
 休憩時間帯



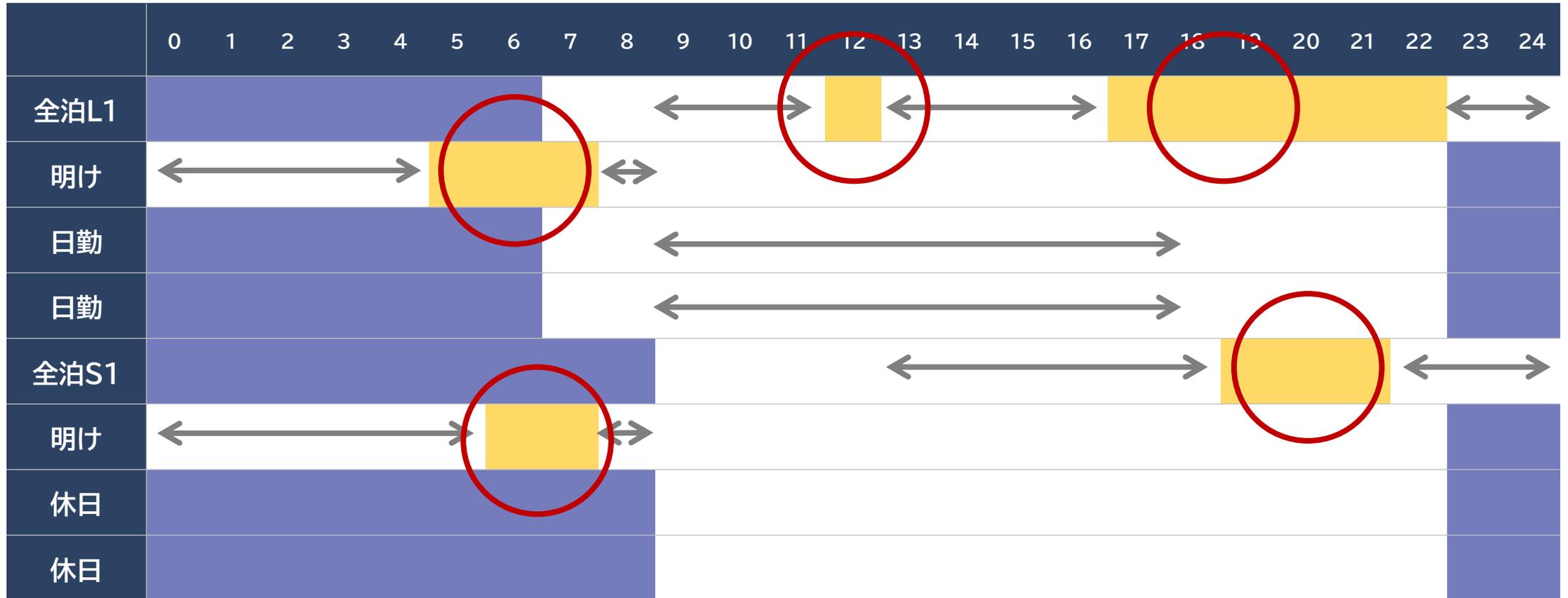
どうしても眠い場合は、短い時間にとどめ、夜の主睡眠に影響がない範囲で！

ポイント②

全泊勤務時の仮眠のとり方

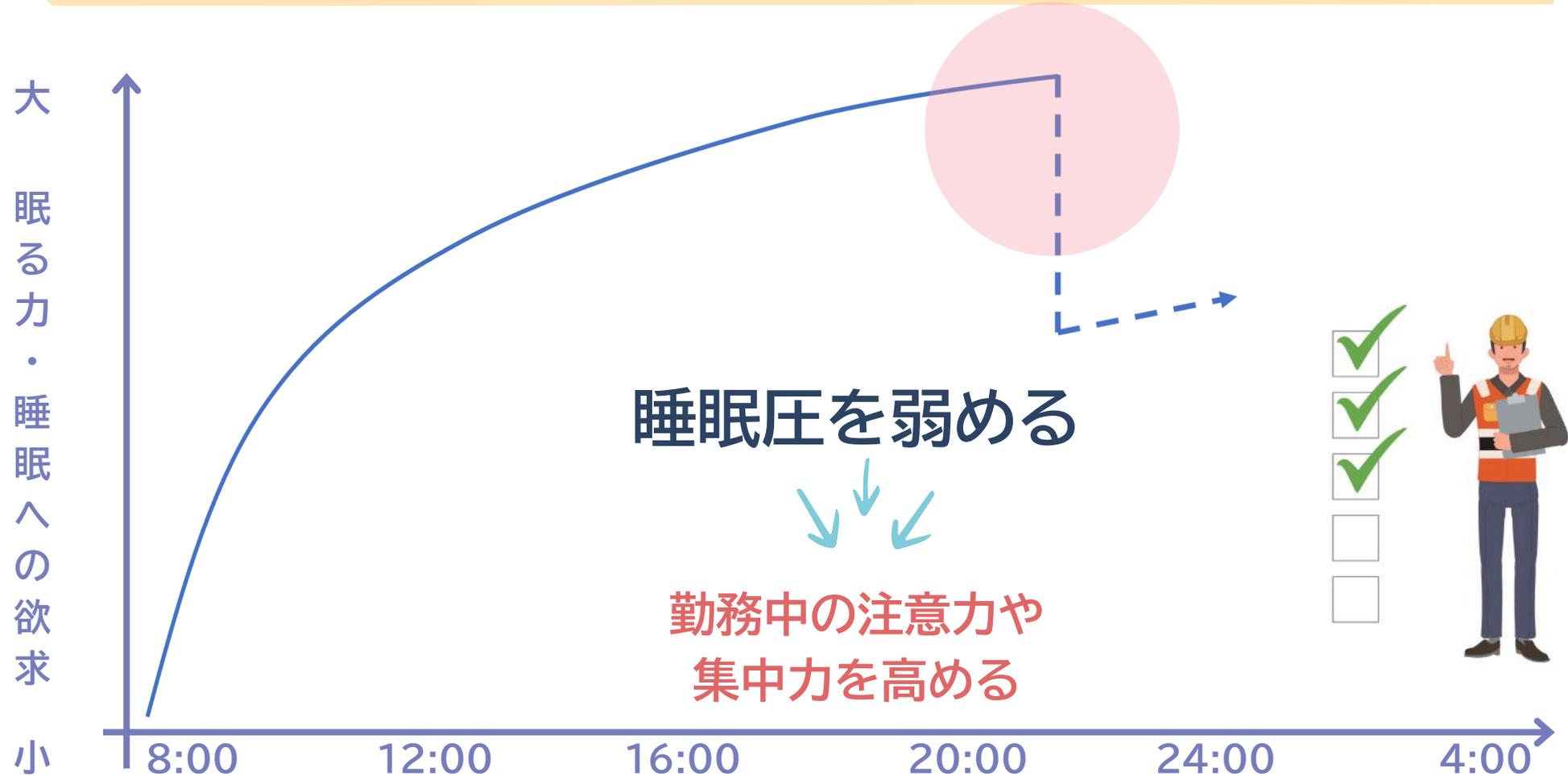
勤務シフトにあわせた睡眠のポイント

↔ 勤務時間帯
 睡眠時間帯
 休憩時間帯



全泊勤務の日は

休憩時は積極的に仮眠をとり睡眠圧を弱める



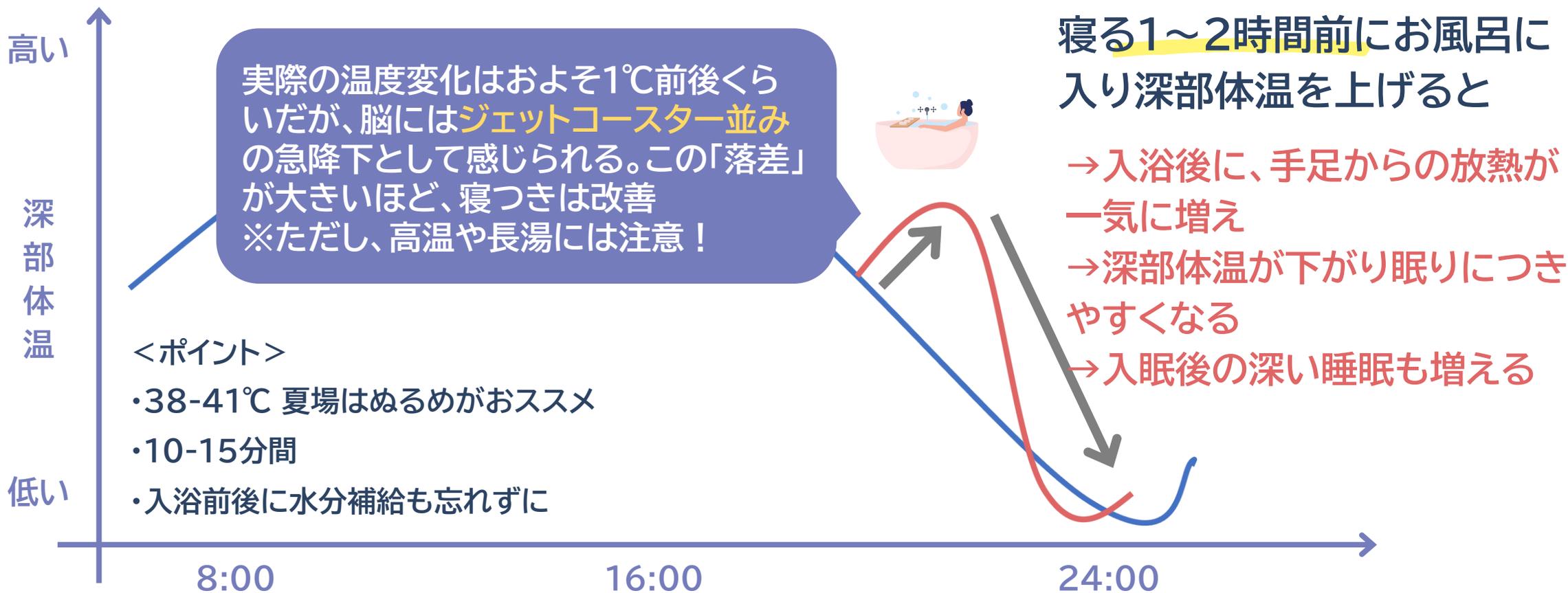
ポイント③

夕方～夜寝る前までの過ごし方



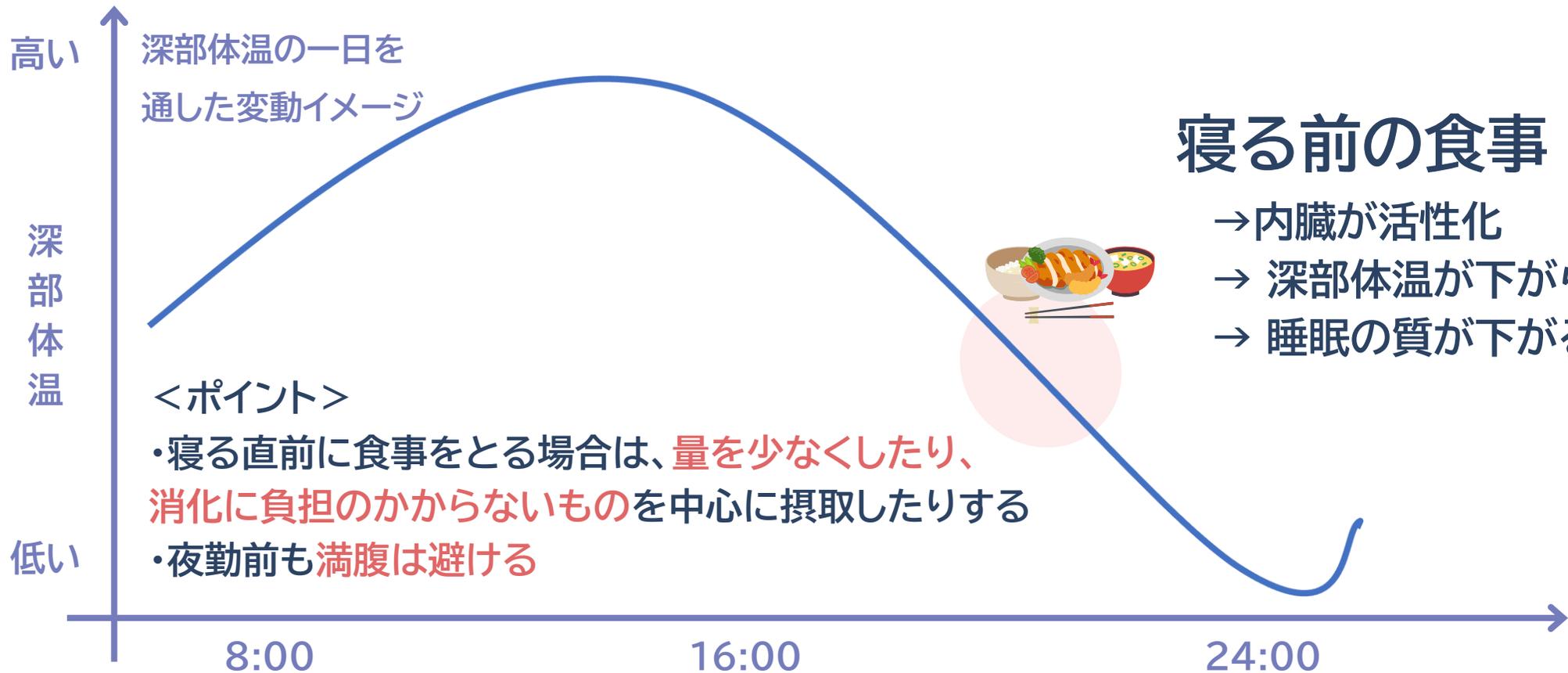
寝つきを良くするために

寝る1~2時間前にお風呂に入る



寝つきを妨げないために

寝る2~3時間前までに食事や飲酒を終える



03 Fitbitの見方と 設定について



睡眠改善プログラム 初回研修

Fitbitの見方について



睡眠データを確認してみましょう！

お月様のマークを押すと

睡眠スコアとグラフが
表示されます



※計測初日や睡眠時間が
3時間未満の場合は
スコアが表示されない
ことがあります

睡眠スコアの見方



非常に良い	:90~100
良好(良い)	:80~89
普通(やや低い)	:60~79
要改善(低い)	:60以下

Fitbitのスコア算定方法

50%: 睡眠時間

睡眠時間 = 寝床に入っている時間 - 目覚めている時間

夜中に目覚める回数が多い、あるいは目覚めている時間が長い場合はスコアに影響することがあります

25%: ノンレム睡眠とレム睡眠の時間

2つの組み合わせが睡眠の質(疲労回復)に繋がります

25%: 睡眠中の体の動きと心拍数の変化

就寝中の心拍数を見ることで、睡眠の質(どの程度穏やかな状態/興奮した状態)だったかを測定します

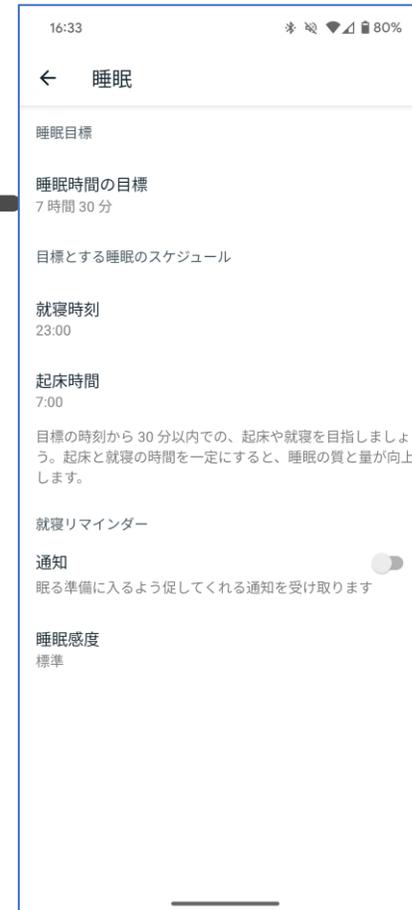
※スコアは参考値でしかない点は注意
(80点以上はなかなか出ません)

目標睡眠時間を設定しましょう

右上のメニューボタンから、
設定が可能です



目標睡眠時間や目標就寝・起床
時間の設定ができます



睡眠データを確認してみましょう！



■チェックポイント

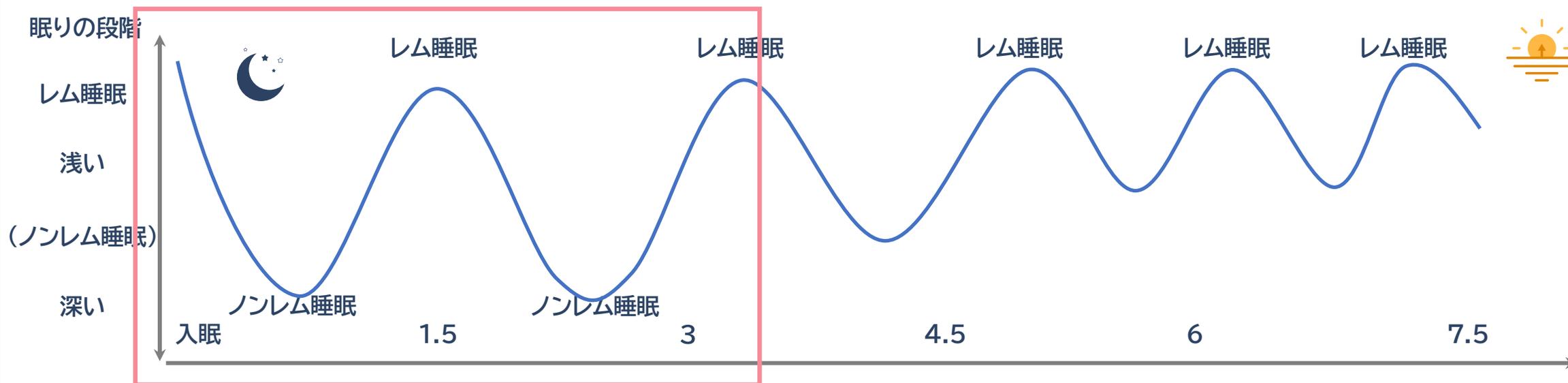
- ① 睡眠時間がとれていたか
- ② 寝つきに時間がかかっていなかったか
- ③ 眠りはじめから3時間に「深い眠り」がでていたか
- ④ 睡眠の後半になるにつれて「レム睡眠」が出ているか
- ⑤ 途中で「長めの覚醒状態」がなかったか

※睡眠時間が3時間未満の場合は、
波のデータは表示されませんので、ご了承ください

睡眠の役割

睡眠の前半
脳と体の休息

睡眠の後半
心の休息



成長ホルモン

疲労回復 免疫を整える
身体の成長

メラトニン

眠気を促す
生体リズムの調整

コルチゾール

血糖値や血圧の調整
起床を促す

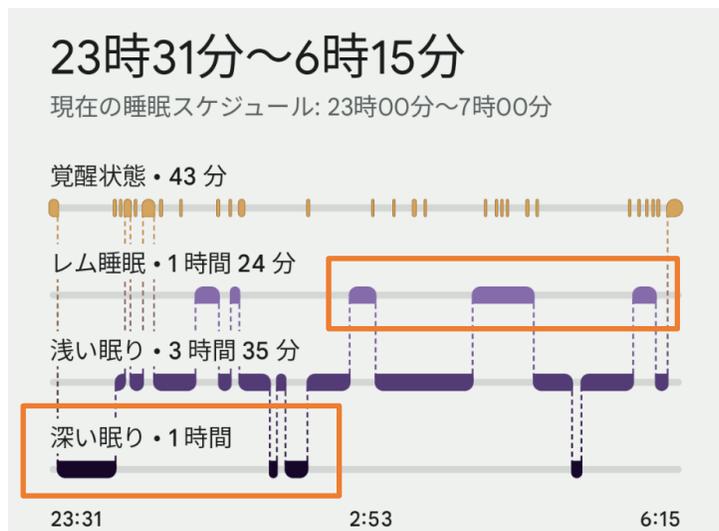
睡眠データを確認してみましょう！



■チェックポイント

- ① 睡眠時間がとれていたか
- ② 寝つきに時間がかかっていなかったか
- ③ 眠りはじめから3時間に「深い眠り」がでていたか
- ④ 睡眠の後半になるにつれて「レム睡眠」が多くなっていたか
- ⑤ 途中で「長めの覚醒状態」がなかったか

重要 睡眠データと行動を結びつけてみましょう！



- ・睡眠時間が十分に確保できた
- ・深い睡眠が前半3時間に出現
- ・後半も規則的にレム睡眠が現れる

なぜ良かった(悪かった)のか？

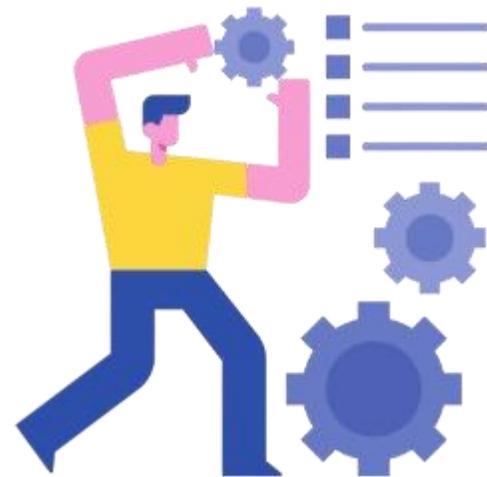
(例)

- ・日中に運動をした
- ・お酒を控えた
- ・寝る2～3時間前にご飯を終えた
- ・リラックスして寝る時間を迎えた
など

日中や寝る前の行動と照らし合わせて振り返ることが大切

眠れる日とそうでない日のパターンをつかむ

Fitbitの設定について



お願いしたいこと

- ① Googleアカウントの取得(お持ちでない方のみ)
- ② Fitbitアプリのインストールと初期設定
- ③ ニューロスペースシステムとのデータ連携
- ④ アンケート回答(2種類)

初回メールについて

2025年12月25日(木)に配信したメールは届いていますでしょうか？

このたびは睡眠改善プログラムにご参加いただき、誠にありがとうございます。
睡眠改善プログラム事務局（ニューロスペース）の原田と申します。

プログラム開始に先立ち、**初回研修（1月8日/9日）**までに実施いただきたいことをご案内します。
お忙しいところ恐れ入りますが、ご確認とご対応をお願いいたします。

1. Googleアカウントの取得（お持ちでない方のみ）
2. Fitbitアプリのインストールと初期設定
3. ニューロスペースシステムとのデータ連携
4. アンケートの回答

1. Googleアカウントの取得（お持ちでない方のみ）

Fitbitアプリの設定の際に、Googleアカウント（Gmailアドレス）が必要になります。
Googleアカウントをお持ちでない方は、以下のURLより設定をお願いいたします。
既にGoogleアカウントをお持ちの方は、このまま2へお進みください

注意：会社のGoogleアカウントでは登録が出来ませんので、個人のGoogleアカウントでの登録をお願いいたします

[Googleアカウントの登録はこちら](#)

注意：上記リンクに遷移後の「ステップ1: Google アカウントの種類を選択する」では、「**自分用**」を選択して進んでください。

2. Fitbitアプリのインストールと初期設定

アンケートについて

以下2つのアンケートへの回答をお願いいたします
まだの方はお手元のQRコードからご回答ください

開始前アンケート



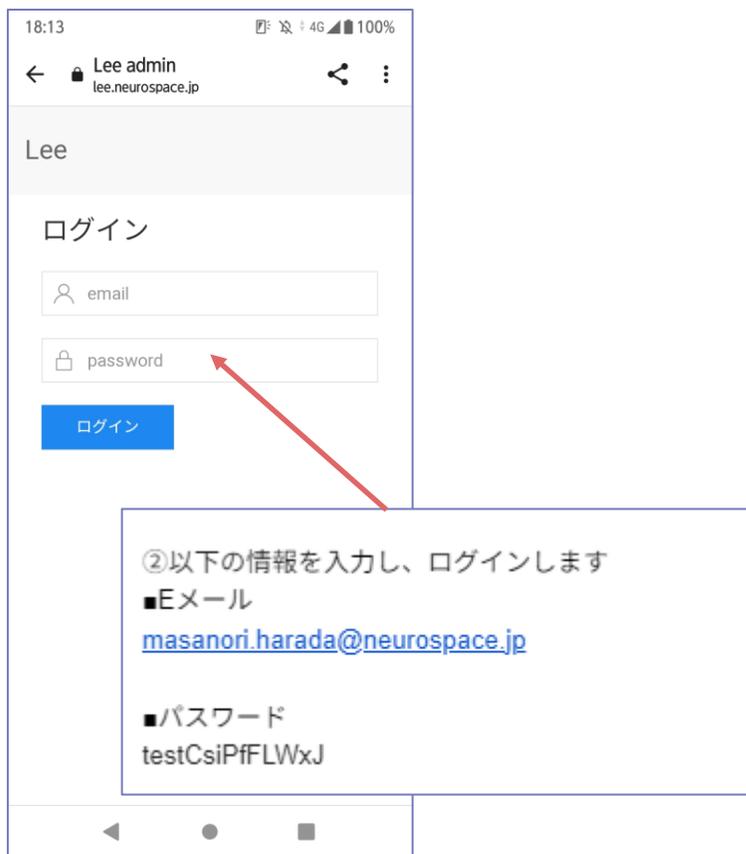
シフト確認アンケート



ニューロスペースシステムとのデータ連携

以下のURLにアクセス後は、
<https://lee.neurospace.jp/login>

12/25メール記載の
メールアドレス・パスワードを入力



18:13 Lee admin
lee.neurospace.jp

Lee

ログイン

email

password

ログイン

②以下の情報を入力し、ログインします

- Eメール
masanori.harada@neurospace.jp
- パスワード
testCsiPfFLWxJ

「Googleで続ける」を選択後は、
個人で設定したGoogleの
メールアドレス・パスワードを入力



18:15 accounts.fitbit.com/logi

fitbit

サインインする

Googleで続ける

Eメールアドレス
アカウントのEメールアドレス

パスワード
安全なパスワードを入力してください

ログインしたままにする
パスワードを忘れた場合

サインインする

ニューロスペースシステムとのデータ連携

データ連携完了後は
右のような画面になっていればOK
ログアウトへ進みましょう！

ご不明な場合は、
スタッフまでお知らせください



本日中に実施いただくこと

Fitbitの確認



Fitbit本体とアプリの接続 ペアリング



→マニュアル(研修当日)を
ご覧ください。

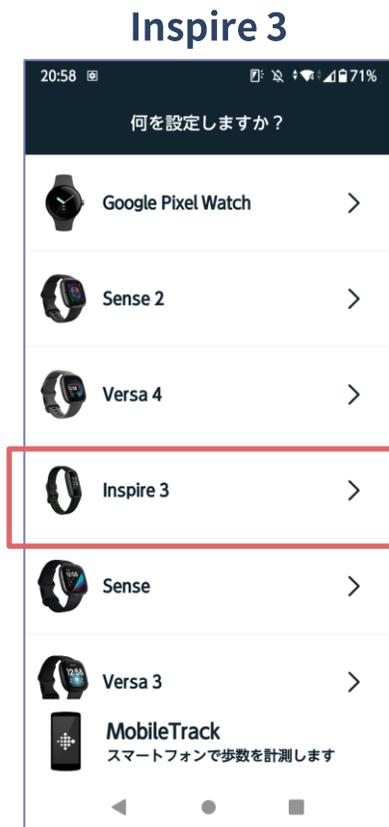
Fitbitアプリを設定する

1. Fitbitのアプリを開き、左上の歯車(または顔マーク)を押し「+デバイスを追加」へ進みます



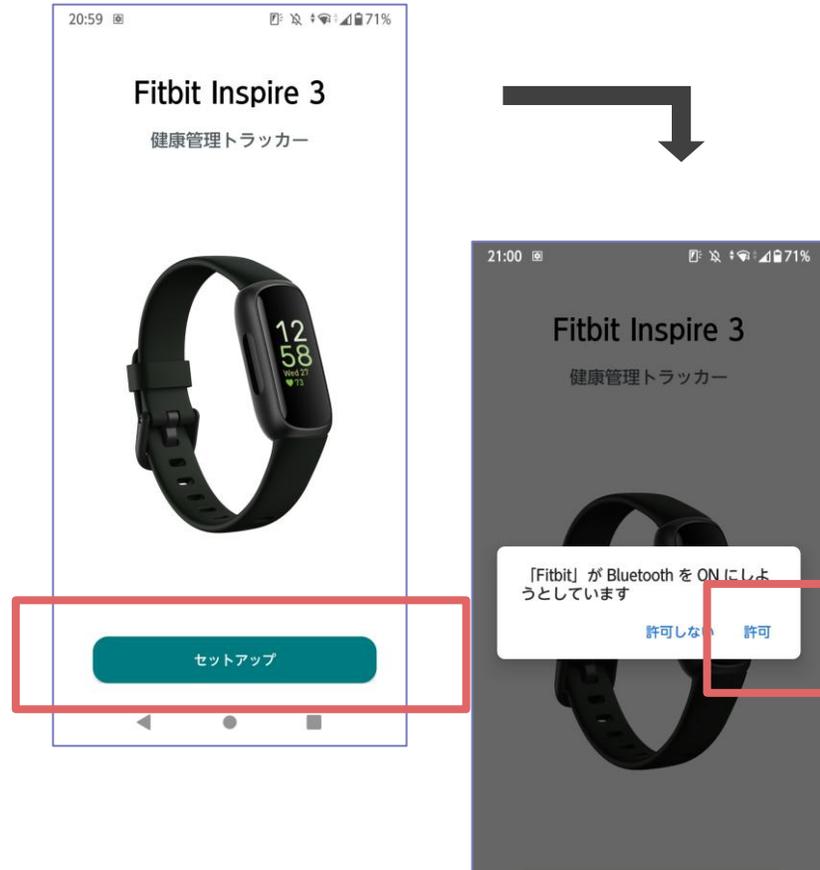
2. 機種選択の画面で、使用するデバイスを選択します

<ご注意>スマートフォンの機種によって、次頁以降表示される画面が、マニュアルの手順と異なる場合がありますが問題ございません(アプリで表示される画面に従ってお進みください)



Fitbitアプリを設定する

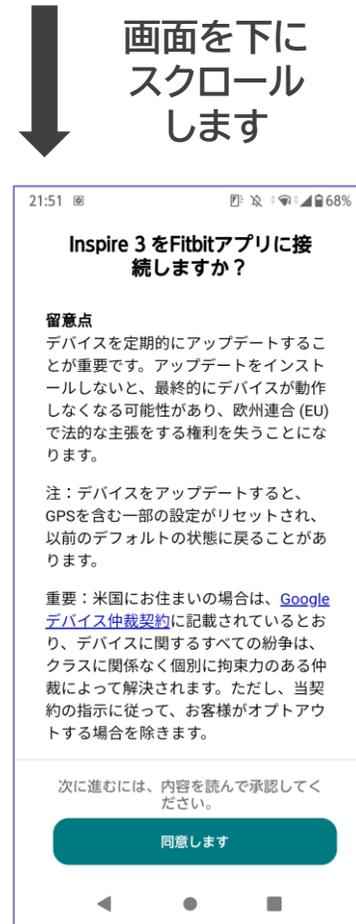
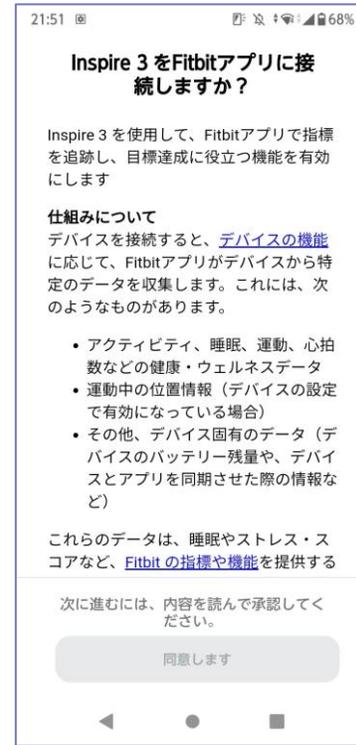
3. 「セットアップ」を押し、「Bluetooth」を許可します



これらの画面が出ない場合は、そのまま4へ進んでください

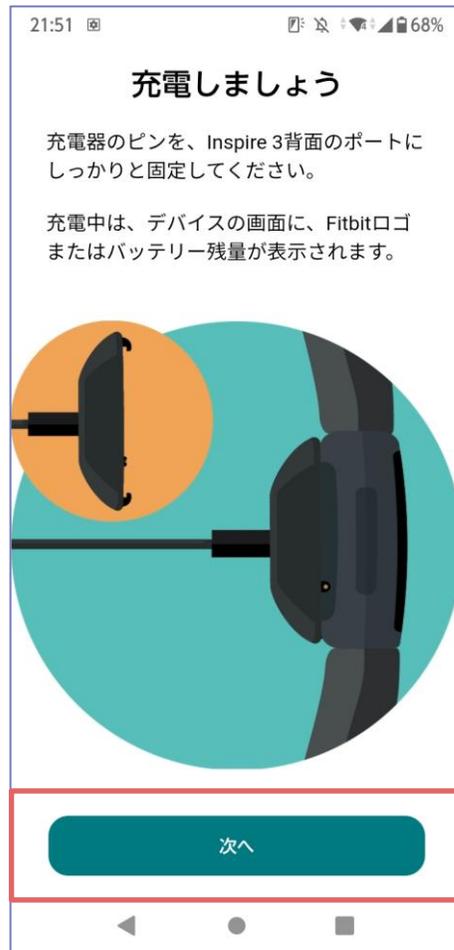
4. 表示された画面を下にスクロールし、「同意します」を押します

<ご注意>
英語で表示される場合もありますが、手順は同じです。



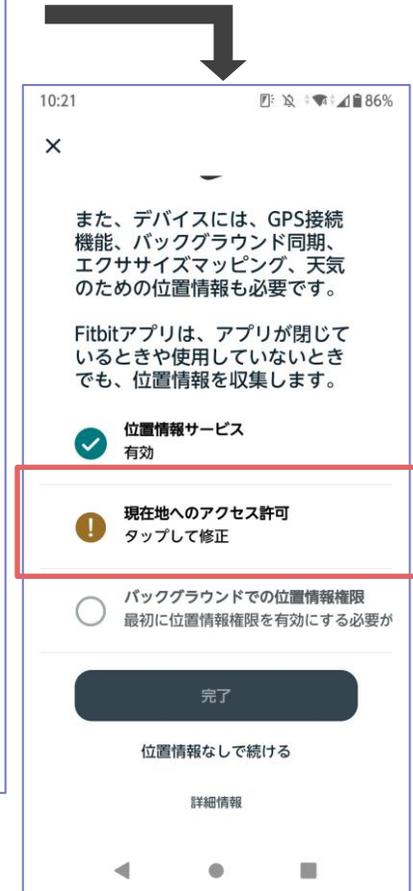
Fitbitアプリを設定する

5.「次へ(またはNext)」を押します



6.以下の画面が表示された場合は、「現在地へのアクセス許可」を押します

※iPhoneの場合や本画面が表示されない場合は、そのまま「手順11」にお進みください

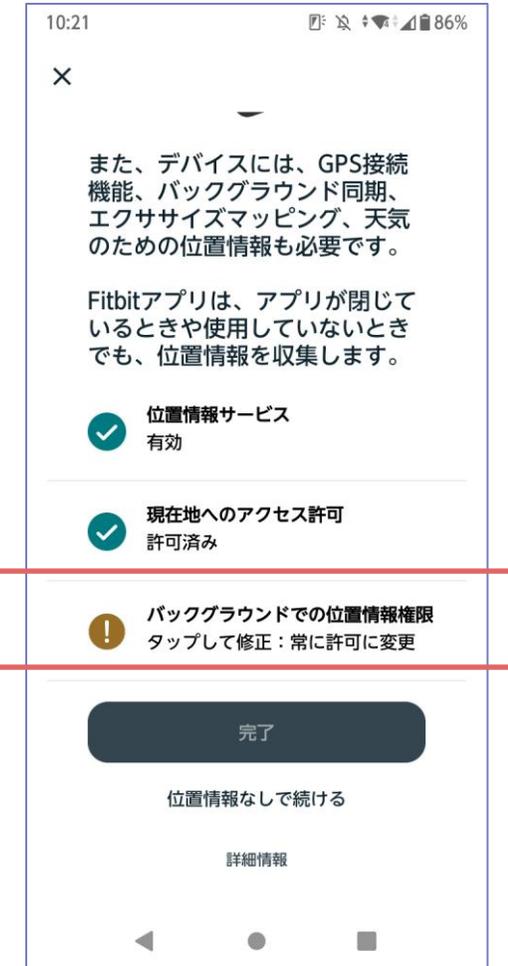


Fitbitアプリを設定する

7.「アプリの使用時のみ」を押します

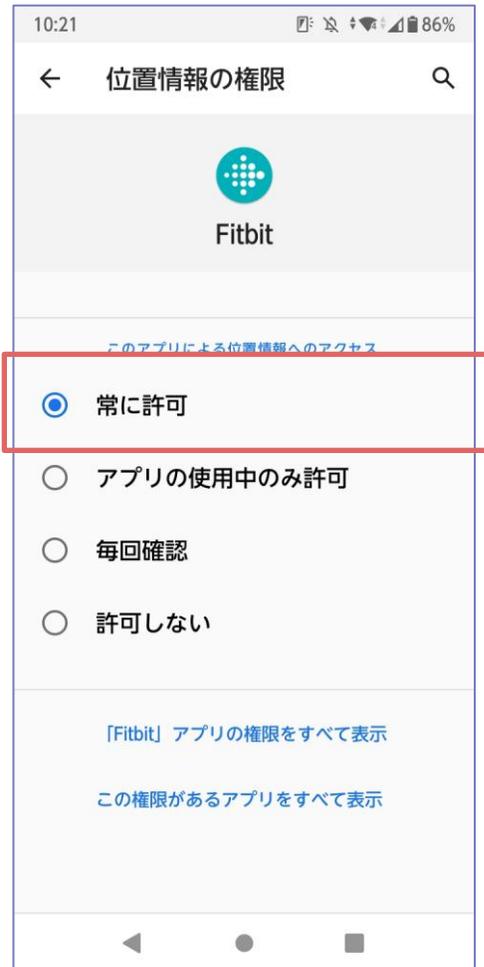


8.続いて「バックグラウンドでの位置情報権限」を押します



Fitbitアプリを設定する

9. 「常に許可」を押します



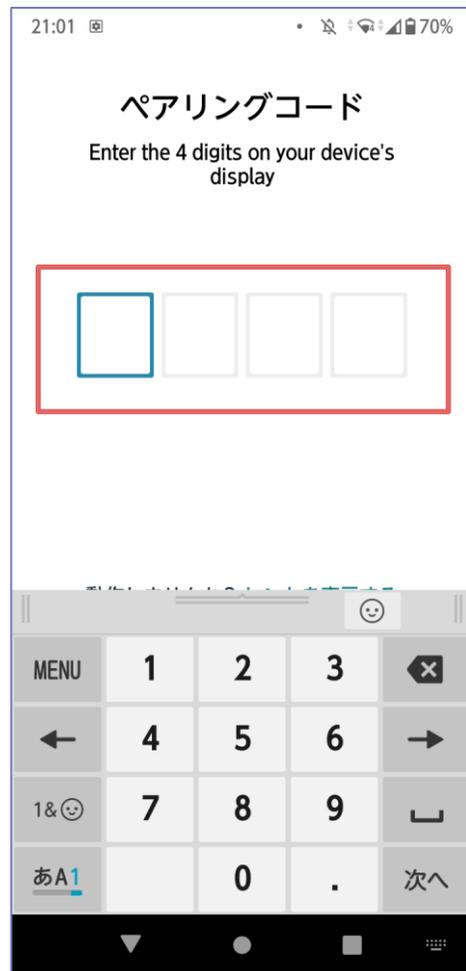
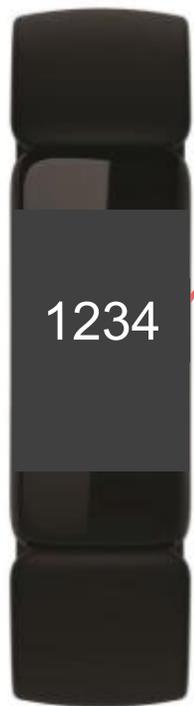
10. 「完了」を押します



Fitbitアプリを設定する

11. Fitbit本体に表示された4桁の番号
を入力します

※イメージ



12.しばらく待ちます

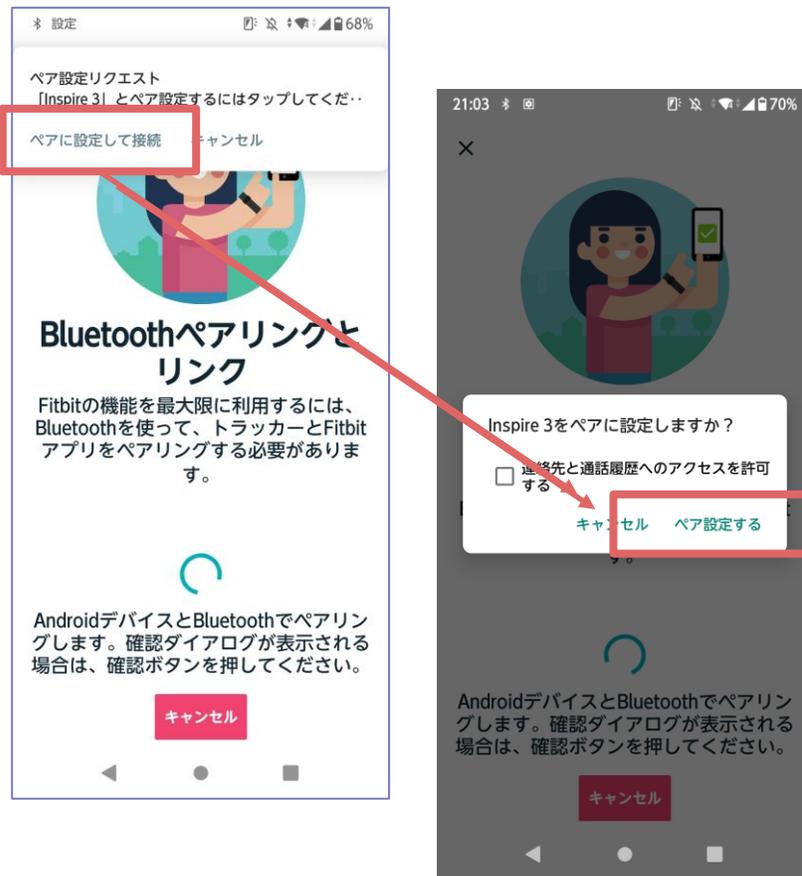
※少し時間がかかる場合があります



Fitbitアプリを設定する

13. 画面上の表示が出たら「ペアに設定して接続」を押し、次の画面で「ペア設定する」を押します

※連絡先と通話履歴へのアクセスを許可するは、チェックを入れても入れなくてもどちらでも構いません



14.次に表示された画面で「OK」を押し、その後の画面で「許可」を押します



Fitbitアプリを設定する

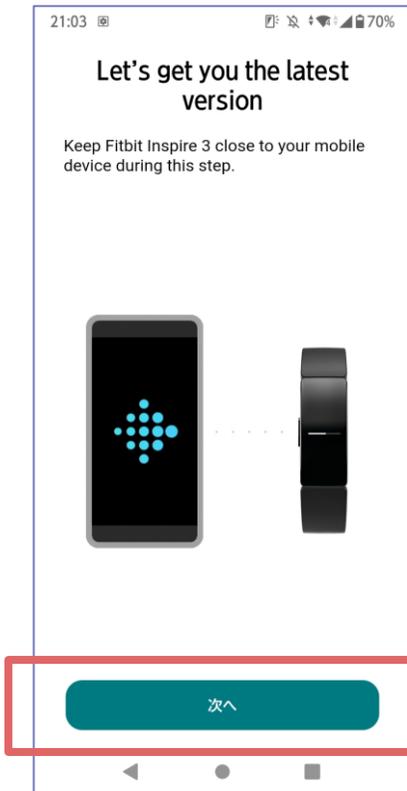
15. 画面の表示が出たら「次へ」を押すと
右側のダウンロード画面が表示されます
のでそのまま待機します

こちらの画面が表示されない場合は、そのままお
進みください

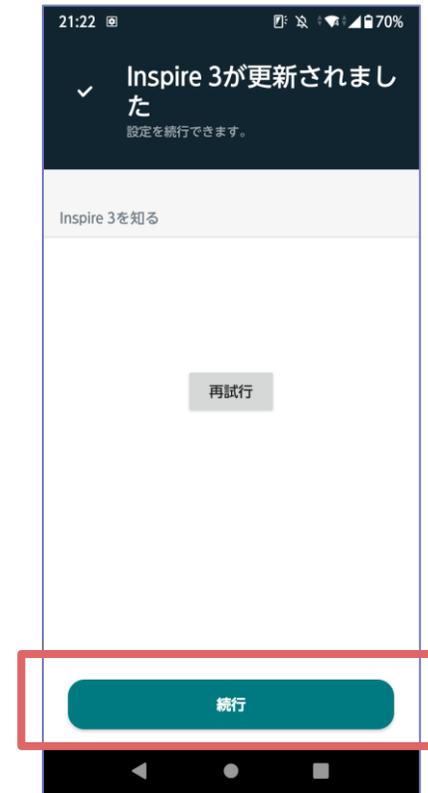
16. 完了しましたら「続行」を押します

<ご注意>

Fitbitの画面もダウンロード中の画面に切り替わり
ます。完了には20分～30分程度時間がかかります
ので予めご了承ください。



Fitbitの表示



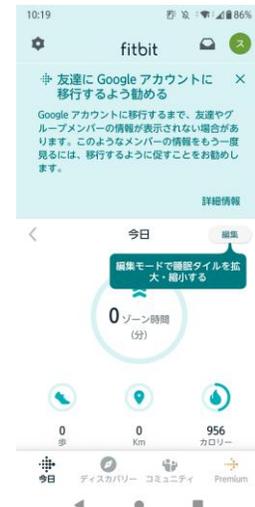
Fitbitアプリを設定する

17. 順に「次へ」を押します。最後の画面まで進めば設定は完了です！



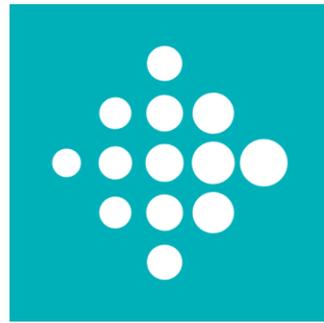
Fitbitプレミアムが案内される場合は、左上の「×」印を押します

※Fitbitの機種によって、上記案内が表示されませんが、そのまま進んで頂いて構いません。



この画面が表示されれば設定は、完了です！

Fitbitアプリを設定する



Fitbitアプリを開いた際に
右のような画面になっていれば
設定完了です！



鉛筆マークから、
トップ画面の
レイアウトの
編集が可能です！

設定後は、睡眠計測をしてみましょう！

就寝時：腕に装着して就寝

- ※腕時計のイメージできつすぎず、ゆるすぎず程度に装着ください。
- ※就寝時以外に、活動量計等として使用頂いても結構です。



もし、腕にかゆみが生じる場合はお知らせください！違う素材のベルトをお送りします

起床時：アプリを開いて同期



ホーム画面を下にスクロールすると同期されます

Fitbit使用上の注意点

- ・紛失や破損の場合は、補償いただく場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- ・シャワーやお風呂、サウナ、発汗を伴う高強度の運動、プールでの着用はご遠慮ください
- ・石鹸やシャンプー、コンディショナー、香水、防虫剤、ローション、日焼け止めなどの化学製品がデバイスにかからないようにしてください
- ・Fitbitプレミアム(有料)への加入は自己責任でお願いいたします
→無料トライアル期間がありますが、ご自身で解約をしない限りは無料期間後に課金されてしまいますので、ご注意ください。

■本日中に実施いただくこと

1. Fitbitアプリの設定
2. ニューロスペースシステムとのデータ連携
3. 2つのアンケートに回答(開始前アンケート+シフト確認アンケート)

■本日以降、実施いただくこと

1. 就寝時にFitbit着用
2. 起床時に睡眠データの確認

■疑問点がある場合

support@neurospace.jp宛に、会社名・お名前・お問い合わせ内容を記載のうえ、遠慮なくメールでご連絡ください。

次回は、1月29,30日の中間研修です
これからどうぞよろしくお願いいたします

本日お話しすること

- 1 プログラムの概要
- 2 Fitbitの設定と見方について
- 3 睡眠をより良くするためのポイント
- 4 質疑応答 / 設定フォロー**